

Ⅲ 古文書

1 古文書解説

県立長崎シーボルト大学 岩崎 義則

(1) 概要

今回、調査を行った毛利家遺品中の古文書類は、全体で七百四十件。但し、文書の保存状態により、調査時、開封・展開ができなかった文書(「その他」分類中の書冊群、「御先代様方御書」中の包紙一括文書群等)は、一括した状態のものを一件として処理を行い、「地券類」中の地券は、一括状況によって、複数通の地券を一件のデータで処理した。よって、毛利家遺品中の古文書実点数は、七百四十件を超過したものとなるが、より正確な点数の確定には、破損・損壊文書の修復・展開が前提となる。保存状態は、概ね良好であったが、前述の如く、京都仙洞御所普請関連や近世初期検地帳を含む比較的まとまった相当数の書冊類に著しい破損があり、また、歴代藩主の「御先代様方御書」についても、多くが湿損のため展開不能であった。一方で、「豊臣秀吉朱印状」、「源林院殿遺書」、「予章記」、「御系図参考書類」、「毛利家系図」などは、厳封の上、木箱に納められ、そのため保存状態も良好である。

報告書への目録掲載にあたっては、調査を行った毛利家遺品中の古文書を、明治維新を基点として、それ以前のものを「近世文書」、以後を「近代文書」とし、破損などの理由によって内容調査ができなかったものを「その他」として分類した。また、伝存状況を保全するため、箱入や包紙など、文書の一括状況を優先し、分類・整理を行った点を予め了承頂きたい。以下、その分類項目にそって、内容を補足しておきたい。

⑦ 豊太閣ヨリ御感状御朱印写

老通

⑧ 御系図草稿

老通

⑨ 慶長六年高政公へ片桐市正殿ヨリ被差出帳面

老冊

⑩ 慶長六年ヨリ元和二年迄御勘定所ヨリ

老冊

⑪ 毛利右京ヨリ豊後国玖珠

老冊

⑫ 御系譜

老括

⑬ 古系譜

老函

⑭ 森家系譜

参袋

⑮ 河野家系図

老函

⑯ 旗紋・幕紋・家紋・替紋

老袋

⑰ 御先代様御直書類

老括

一 領知目録(三十一件) 木箱に一括されており、寛文四年四月五日付毛利高直宛領知目録を最古として、高泰代まで、正本・写を含め通計三十一点の領知目録が確認できた。『佐伯藩政史料目録』A1(御朱印・領知目録)の内容を補う。

二 家譜・系図(六十三件) 家譜・系図関連の文書は、「御系図参考書類」(No56-41)として、比較的まとまって伝存している。詳細な系図はもとより、毛利家系図調整に関連した諸家(真田・藤堂・朽木家等)への質問・回答書や、豊後森藩久留嶋氏先祖河野氏の家譜「予章記」(No25)、河野出雲守道総の「雲州公御一代之御手柄之覚」(No56-11-1)など、佐伯藩政史料中には見受けられない文書類が確認できた。

三 毛利高政関連文書(三十八件) ここには、初代毛利高政発給・受給文書を収めた。高政の朝鮮陣での活躍を伝えた「豊臣秀吉朱印状」(No26-19-8)など、高政関連文書は、『大分県史料26』(大分県教育委員会昭和四十九年三月)に「毛利高棟文書」として翻刻されている。「毛利氏略系図」(No26-19-16)の記事によれば、「天正拾壹年柴田合戦之時志津嵩ニテ鎧ヲ合高名モ致手モ負申候、則秀吉公ヨリ御感状被下候、其外所々

近世文書

「旧記目録」 佐伯藩主毛利家伝世の古文書の大部分は、現在、佐伯藩政史料として佐伯市教育委員会が所管している(佐伯市教育委員会編『佐伯藩政史料目録』昭和五十四年三月)。今回調査した毛利家遺品中の古文書は、明治以後作られた「旧記目録」(No56-5)によれば、佐伯藩政史料等とともに、毛利家が保管していたものであり、かつ、「旧記目録」中の「書付第壹号 長持」(六十四件)、「書付特第壹号 負葛籠」(十六件)、「書付第貳号 長持」(三十件)の内に分類されたものが多い。「書付第参号」(二百八十七件)、「書付第四号」(二十九件)、「図第壹号」(二十六件)、「御家老日記第壹号函」(第五号函)、「御番頭日記第壹号」(第六号)に記載された文書は、概ね佐伯藩政史料中に所収されている。

一例として、「旧記目録」所収の「書付特第壹号 負葛籠」の部分を用いてみよう。詳細な内容は記録されていないが、十六件の内、⑤を除いた残りの文書については、内容未調査分を含め、今回の調査ではほぼその存在が確認できた。

① 御元祖様并御先代様御書

老函

② 同

老函十八封

③ 仙洞御所御手伝書

拾老冊一、包
十七冊絵図一枚、包
六冊一、包

参包

外二

万証文紙袋入 一 御入用道具書付函入及黄紙包

④ 高政公へ稲葉右京亮殿ヨリ被進御状

老函

⑤ 高政公ヨリ次代高政公へ御相伝御書并二

老函

⑥ 御長筒用ノ品并二樽入

老封

之陣ニテ御感状御座候ツル、豊後佐伯伊勢守居城二ノ丸ニテ元和三年六月廿五日火事出来候節、右之御感状共焼失仕候、於高麗国水江二番船切捕、南原之城責崩候時、従秀吉公御感状御朱印相残、于今所持仕候」と、元和三年六月二十五日の二ノ丸火災により、秀吉の感状については、朝鮮出兵時以外のものは焼失していたことがわかる。

四 御先代様御書(二十三件) 「御先代様御書」と箱書され、一括されていた文書であり、「旧記目録」引用中の①に該当するものであろう。毛利高政・同高慶・浪江(森装、扶搖公子)らの書状や、寛永九年、肥後熊本城主加藤忠広改易時の幕府老中からの「口上」などがある。

五 毛利高慶関連文書(百六十二件) 六代藩主毛利高慶の発給・受給文書、及び「源林院伝御書」などと包紙で一括された高慶関連の文書を収めた。点数及び内容的にも、群を抜いて充実している。佐伯藩中興の英主と評された高慶だけに、今後の佐伯藩政史研究に重要な意義を持つことは疑いない。就中、高慶以後の歴代藩主が、拝読の上厳封した「源林院殿御遺言書」(No56-43)の存在や、その他私信類によって、彼の細やかな性格や人間性までも窺うことができる。また、享保飢饉時の関連史料も比較的まとまって伝存している。

六 毛利高謙外藩主関連文書(五十五件) 十二代藩主高謙の諸大夫任命関連の文書を中心に、金比羅山への石灯笼奉納関連文書、刀・脇差の拵目録など、藩主に関するものを収めた。

七 御先代様方御書(三十三件) 高慶・高誠らの直書類が包紙で一括され、木箱に保存されていた。「御先代様方御書 拾八封入」とあるので、「旧記目録」の引用②が該当すると思われる。湿損・虫損により開封・展開が困難な文書が多く、調査は、包紙の表書を採録するに留まった。安政開国に関する意見具申書など、一部、開封・調査が可能であった文書もある。

八 免許・伝書(十二件) ここでは、免許・伝書類を収めた。「津田流砲術」(No 56-23)・「三神流我等伝系之巻」(No 56-34-15)などは、「旧記目録」の「書付第号 長持」中に、「甲州流軍書」(十一冊一函)、「同流軍法書」(十冊一函)、「三神流砲術免書物」(二函)、「同流御伝書」(一袋)、「田宮流居合目録」(一函)など、四十四件の免許・伝書類の目録として記録されている。

九 絵図(十六件) 佐伯城絵図や城の破損修復箇所を示した絵図などを確認できた。

十 文芸・その他(十件) 「八景和歌」(No 56-22)など、和歌・詩歌の類をはじめ、内容不詳の図や時計を収めた。

近代文書

近代文書は、内容や伝存状態によって、以下の五つの項目に分類した。

一 記録・写本(三十五件) 明治以後に編纂された佐伯藩政に関する記録類や写本・絵図類、平山右文治による筆写原稿類などを収めた。内容も良質で、「旧藩制取調項目」(No 56-21-1)や、鶴岡村図師高浦善太郎の複製絵図類など、佐伯藩政史を通覧する上でも至便な文書群である。

二 禁錮騒動関連文書(百三十二件) ここに収めた文書は、一般に禁錮騒動と呼ばれた、明治三年から同四年にかけて起こった佐伯藩内での事件に関するものである。藩政改革をきっかけに、不満を持った有志が党派を形成。武力を以て、藩上層部に改革断行を迫るといった状況が醸成されつつあった中、明治三年十一月、田中晟之・高橋貢・谷川豹・関守人・長谷川七十郎・阿南惟長・高橋熊太・尾間忠恕・古川静蔵らが禁錮に処され、翌年三月、日田へ巡察した陸軍少将四条隆謨のもとへと護送された。その間の佐伯藩大参事の日記や関係者の調書・風聞書をはじめ、禁錮者の処罰や邸宅地の売却処分等に関する文書類も含まれる。佐伯藩政史料中

に、類似の文書群は確認できない。

三 露記(七件) 明治十七年、毛利高範への子爵授与に関連した文書。
四 地券類(九件) 明治二十二年矢野文雄へと譲渡された地券八十枚、有慶社所有の地券七十二枚、及びこれらの関連文書。

五 佐伯開市記念会(五十八件) 明治三十三年四月に行われた佐伯開市三百年祭に関する事務書類。会員名簿・領収書・事務通信書簡などを収める。細川立興・毛利高範等の祝詞もある。

その他

その他には、調査時、破損文書として一括されていた文書群を収録した。書冊類の多くは板状に硬化しており、複数冊が剥離不能な状態にあった。そのため、最上部の書冊表紙を表題として採録している。展開可能な「仙洞御所作事対屋方雄造作付大工・木挽工数割帳」(二冊)(No 57-10-1)など、仙洞御所普請関連文書は、「仙洞御所御手伝書」として、「旧記目録」の引用③のように分類・管理されていた。慶長六年の豊後国日田・玖珠両郡の蔵入目録・算用状も、⑨と⑩のように同様である。その他、系譜・系図関連の文書、家紋、「御長筒用之品并櫓入」(⑥)など、「旧記目録」引用部記載の文書との関連が推定されるものが複数ある。今後の修復に期待したい。

(2) 調査目録凡例

目録には、通番・表題・年月日・作成・宛先・備考・形態・数量・法量・整理番号のデータを掲載した。通番は、各分類項目中の通し番号である。表題中、「」でくくられたものは、調査者が付した仮題である。また、表題から内容が推測できない場合は、出来るだけ()で内容を示した。包紙などの場合、()内には、包紙の上書などが記載されている。

る。年月日は、文書が作成された年月日で、()を付けたものは、推定である。作成と宛先は、それぞれ文書の作成者と宛先。備考には、内容をふくめ、文書の状態や特記事項を記した。形態は、文書の形態であり、特に一紙の場合、継いだ紙の枚数を掲載することで、大きさの概要が把握しやすいようにとめた。書冊(縦帳・横帳)類については、丁数を加えた。数量は、一点毎に番号をふつたので、原則として一となる。

その他、「」でくくられた部分は、原典からの引用であるが、引用にあたっては、可能な限り現行の漢字を用い、仮名遣いも現行のものに改めた点を了解頂きたい。

近世文書

一 領知目録

1 「木箱」(御領知目録本紙)

木箱 一
六四・一×二一・六
×二二・一
No.33-0

2 「毛利伊勢守高直宛領知目録」

〔年月日〕寛文四年四月五日 一紙
〔作成〕永井伊賀守尚庸・小笠原山城守長頼 三八・三×九六・一
〔宛先〕毛利伊勢守殿(高直) No.33-13
〔備考〕「領知之目録」、包紙二枚

3 「毛利伊勢守高直宛領知目録写」

〔年月日〕(寛文四年四月五日) 一紙(二枚継)
〔作成〕永井伊賀守尚庸・小笠原山城守長頼 四三・四×一〇三・七
〔宛先〕毛利伊勢守殿(高直) No.33-21
〔備考〕「寛文四年四月五日領知目録家綱公御代」、札一枚・包紙あり

4 「毛利伊勢守高直宛領知目録写」

〔年月日〕(寛文四年四月五日) 一紙
〔宛先〕毛利伊勢守殿(高直) 四六・一×六五・一
〔備考〕「毛利伊勢守とのへ」、札二枚・包紙あり No.33-17

5 「毛利伊勢守高直宛領知目録写」

〔年月日〕(寛文四年四月五日) 一紙
〔宛先〕毛利伊勢守殿(高直) 四六・一×六五・一
〔備考〕「毛利伊勢守とのへ」、札二枚・包紙あり No.33-17

11 「毛利周防守高慶宛領知目録写」

〔年月日〕正徳二年四月十一日 一紙
〔宛先〕毛利周防守(高慶) 四五・九×六五・四
〔備考〕「毛利周防守とのへ」、札一枚・包紙あり No.33-28

12 「毛利周防守高慶宛領知目録」

〔年月日〕享保二年八月十八日 一紙
〔作成〕石川近江守総茂・朽木民部少輔植元 四六・一×九三・〇
〔宛先〕毛利周防守殿(高慶) No.33-8
〔備考〕「当御代領知目録享保二年九月十二日」、札・包紙二枚あり

13 「毛利周防守宛領知目録写」

〔年月日〕(享保二年八月十一日) 一紙
〔宛先〕毛利周防守殿 四六・〇×六五・五
〔備考〕「領知目録一通当主毛利和泉守(高標)」(包紙上書)、包紙二枚 No.33-16

14 「有徳院様御朱印写」

〔宛先〕毛利周防守殿 一紙
〔備考〕「毛利周防守とのへ」、札一枚・包紙あり 三九・一×三三・九
No.33-19

15 「毛利周防守高丘宛領知目録」

〔年月日〕延享三年十月十一日 一紙(二枚継)
〔作成〕本多紀伊守正珍・秋元撰津守涼朝(花押) 四六・二×一四五・四
〔宛先〕毛利周防守殿(高丘) No.33-2
〔備考〕「当御代領知目録延享三年十月十一日」、継目に印鑑あり、付札・包紙二枚あり

16 「毛利周防守高丘宛領知目録写」

〔年月日〕(延享三年十月十一日) 一紙(二枚継)
〔作成〕本多紀伊守正珍・秋元撰津守源朝 四三・四×一四五・二
〔宛先〕毛利周防守殿(高丘) No.33-14
〔備考〕「領知目録」、包紙あり

7 「毛利駿河守高久宛領知目録写」

〔年月日〕(貞享元年九月二十一日) 一紙
〔作成〕本多淡路守忠常・牧野因幡守富成 四六・一×六五・一
〔宛先〕毛利駿河守殿(高久) No.33-17
〔備考〕「領知之目録」、包紙あり

6 「毛利安房守高重宛領知目録写」

〔備考〕「領知目録写当主毛利安房守(高重)」、破損のため展開不能、包紙あり 一紙
四九・〇×一一・九
No.33-3

7 「毛利駿河守高久宛領知目録写」

〔年月日〕(貞享元年九月二十一日) 一紙(二枚継)
〔作成〕本多淡路守忠常・牧野因幡守富成 四三・三×一〇一・八
〔宛先〕毛利駿河守殿(高久) No.33-12
〔備考〕「領知之目録」、包紙あり

8 「毛利駿河守高久宛領知目録写」

〔年月日〕貞享元年九月二十一日 一紙
〔宛先〕毛利駿河守(高久) 四六・〇×六五・五
〔備考〕「毛利駿河守とのへ」、札二枚・包紙あり No.33-25

9 「毛利駿河守高久宛領知目録」

〔年月日〕貞享元年十一月十三日 五〇・六×一〇・九
〔備考〕「貞享元年十一月十三日領知目録綱吉公御代」、破損のため展開不能 No.33-6

10 「毛利周防守高慶宛領知目録」

〔年月日〕正徳二年四月十一日 一紙(二枚継)
〔作成〕松平備前守正久・安藤右京亮重行 四六・一×四一・四
〔宛先〕毛利周防守殿(高慶) No.33-5
〔備考〕「正徳二年領知目録文昭院様御代」、継目に印鑑あり、包紙一枚

17 「毛利周防守高丘宛領知目録写」

〔年月日〕(延享三年十月十一日) 一紙
〔宛先〕毛利周防守殿(高丘) 四六・〇×六五・一
〔備考〕「毛利周防守とのへ」、札一枚・包紙あり No.33-23

18 「毛利彦三郎高標宛領知目録」

〔年月日〕宝暦十一年十一月二十一日 一紙
〔作成〕戸田采女正氏英・松平和泉守乗祐 四六・八×一八・八
〔宛先〕毛利彦三郎殿 No.33-7
〔備考〕「家治公御代領知目録宝暦十一年十一月廿一日」、継目に印鑑あり、包紙一枚

19 「毛利彦三郎高標宛領知目録写」

〔年月日〕(宝暦十一年十月二十一日) 一紙
〔宛先〕毛利彦三郎殿 四五・九×六四・七
〔備考〕「毛利彦三郎とのへ」、札二枚・包紙あり No.33-18

20 「毛利彦三郎高標宛領知目録写」

〔年月日〕(宝暦十一年十一月二十一日) 一紙(二枚継)
〔作成〕戸田采女正氏英・松平和泉守乗佑 四六・一×一八・一
〔宛先〕毛利彦三郎殿 No.33-24
〔備考〕「領知之目録」、包紙あり

21 「毛利和泉守高標宛領知目録」

〔年月日〕天明八年三月五日 一紙
〔作成〕青山大膳亮幸完・松平右京亮輝和(花押) 四六・一×九一・六
〔宛先〕毛利和泉守殿(高標) No.33-1
〔備考〕「家齊公御代領知目録天明八年三月五日」(包紙上書)、包紙一枚

22 「毛利和泉守高標宛領知目録写」

〔年月日〕(天明八年三月五日) 一紙(二枚継)
〔作成〕青山大膳亮幸完・松平右京亮輝和 四五・九×九四・五
〔宛先〕毛利和泉守殿(高標) No.33-11
〔備考〕「領知目録写当主毛利伊勢守」、包紙あり

23 [毛利和泉守高標宛領知目録写]

〔年月日〕(天明八年三月五日)

一紙
四六・〇×六五・一

Na33-20

〔宛先〕毛利和泉守殿(高標)

〔備考〕「文恭院様御朱印写毛利和泉守とのへ」、包紙あり

24 [毛利伊勢守高泰宛領知目録]

〔年月日〕天保十年三月五日

一紙(二枚継) 一
四六・八×一八〇・八

Na33-9

〔作成〕牧野備前守忠雅・本多下総守康禎

〔宛先〕毛利伊勢守殿(高泰)

〔備考〕「天保十年三月御領知目録家慶公御代」、継目に印鑑あり、包紙二枚

25 [毛利伊勢守高泰宛領知目録写]

〔年月日〕(天保十年三月五日)

一紙
四六・〇×六五・五

Na33-22

〔宛先〕毛利伊勢守殿(高泰)

〔備考〕「毛利伊勢守とのへ」、札一枚・包紙あり

26 [領知目録]

〔年月日〕(天保十年)

一紙(二枚継) 一
四四・四×二二六・二

Na33-4

〔作成〕牧野備前守(忠雅)

〔備考〕「領知目録」、虫喰いのため文書後方展開不能、包紙あり

27 [毛利安房守高泰宛領知目録]

〔年月日〕安政二年三月五日

一紙(二枚継) 一
四六・七×一五七・〇

Na33-10

〔作成〕青山大膳亮幸哉・本多中勢大輔忠民

〔宛先〕毛利安房守殿(高泰)

〔備考〕「安政二年三月五日御領知目録家定公御代」、継目に印鑑あり、包紙二枚

28 [毛利安房守高泰宛領知目録写]

〔年月日〕安政二年三月五日

一紙
四五・九×六五・四

Na33-27

〔宛先〕毛利安房守(高泰)

〔備考〕「毛利安房守とのへ」、札一枚・包紙あり

29 [毛利安房守高泰宛領知目録写]

〔年月日〕安政七年三月五日

一紙(三枚継) 一
四五・三×一七八・〇

Na33-29

〔作成〕松平大隈守親良・松平右京亮輝聰

〔宛先〕毛利安房守(高泰)

〔備考〕「領知目録」、包紙二枚

30 [毛利安房守高泰宛領知目録写]

〔年月日〕安政七年三月五日

一紙
四五・九×六五・一

Na33-26

〔宛先〕毛利安房守(高泰)

〔備考〕「毛利安房守とのへ」、包紙あり

31 [毛利安房守高泰宛領知目録写]

〔年月日〕(安政七年三月五日)

一紙(三枚継) 一
三八・九×一五六・三

Na33-15

〔作成〕松平大隈守親良・松平右京亮輝聰

〔宛先〕毛利安房守殿(高泰)

〔備考〕「毛利周防守とのへ」、包紙二枚

一 家譜・系図

1 予章記

縦帳(九十丁) 一
三六・六×一五七・五

Na25

〔備考〕木箱「河野家伝併系図」(箱書)、鍵包「河野家伝予章記箱鍵」、包紙「河野氏家伝記」、木箱(四〇・〇×二六・三×六・五)

2 [小河氏系図書付]

〔年月日〕(嘉永二酉年十一月)

折紙
三六・一×四九・五

Na56-9

〔備考〕小河美濃守よりの系譜書上、包紙あり

3 [包紙] (故出雲守殿戦功之覚書)

包紙
三一・〇×四〇・二

Na56-11-0

4 雲州公御一代之御手柄之覚

〔年月日〕卯月十八日

一紙(九枚継) 一
一八・二×五四七・〇

Na56-11-1

〔作成〕大嶋雲暗・二神長右衛門丞・二神五左衛門丞

〔宛先〕新井新右衛門殿御披露

〔備考〕天正三年、慶長元年まで河野出雲守道総の戦功書上、朝鮮出兵の記事あり

5 河野氏系図

卷子(二七枚継) 一
一八・一×八六五・〇

Na56-11-2

〔備考〕文禄期に來嶋出雲守に改名

6 覚(來嶋出雲守道総の戦功書上)

一紙(二枚継) 一
一八・二×八一・七

Na56-11-3

7 藤原姓毛利氏家系

〔年月日〕(明治期)

卷子
二八・七×一、三〇〇・〇

Na56-29

〔備考〕明治三十四年までの記事、政次より高範公まで、箱入

8 先年公儀へ差出候系図扣

卷子
二九・五×一、五〇〇・〇

Na56-30

〔備考〕宇多天皇から高丘公まで、箱入

9 古系譜

卷子
三三・一×五四〇・〇

Na56-31

〔備考〕宇多天皇から高政公まで、破損あり

10 養賢寺殿霊像安座点眼

〔年月日〕(嘉永二年)

一紙(三枚継) 一
三三・四×一八・〇

Na56-32

〔備考〕包紙・袋あり、「嘉永二酉年七月廿七日御仏前御尊像安座二付御法語養賢寺鼎州より差出大切二相仕舞置候様被仰付候」(袋上書)

11 口上之覚(分家森氏家譜書上)

〔年月日〕申七月

一紙(三枚継) 一
一七・八×一六・五

Na56-34-6

〔作成〕毛利伊勢守使者谷川角兵衛

〔備考〕毛利伊勢守高政弟九郎左衛門吉安・惣領森勘右衛門吉隆・次男森勘兵衛吉房など履歴、包紙あり

12 [包紙] (分家竹中彦八郎義絶に関する書付二通の包紙)

〔年月日〕(安政四年十一月七日)

包紙
一七・五×四一・七

Na56-34-7-0

〔備考〕二重包紙

13 [御届書写]

〔年月日〕九月

一紙(四枚継) 一
一八・〇×一四九・〇

Na56-34-7-1

〔作成〕竹中圖書助

14 [御届書写]

〔年月日〕九月

一紙
一八・〇×四八・〇

Na56-34-7-2

〔備考〕分家竹中彦四郎義絶の旨届出、「分家高千石小普請組支配大島丹波守組竹中彦八郎」とあり、包紙あり

15 [木箱]

木箱 一
三四・七二〇・二九九・一

No56-41-0

21 [墓所石碑図]

紙
四・七×四・七

No56-41-1-5-1

16 [美濃守高明略歴]

〔備考〕 御系図参考書類 (箱書)

一紙
一六・六×四五・五

No56-41-1-1

22 [森家略系図]

一紙 (一枚継)
一四・六×四八・五

No56-41-1-5-2

17 [御代々御居判写一卷]

〔備考〕 高明美濃守の略歴、御系図参考書類

一紙
一七・八×七七・五

No56-41-1-2

23 文化八末年八月吟味 森勤兵衛様御先祖方墓所御法名

〔年月日〕 (文化八末年八月)

折紙
三三・六×四七・七

No56-41-1-5-3

18 [森小八郎様御統書写]

〔備考〕 歴代藩主の花押、表題は包紙より、御系図参考書類

一紙
一七・九×八二・四

No56-41-1-3

24 [覚] (森忠右衛門・震太郎の法名・後妻など)

〔備考〕 「留池上レイナン坂陽泉寺ニ有之」、御系図参考書類

一紙
二四・八×三三・七

No56-41-1-5-4

19 系図并覚書之中書取

〔年月日〕 (文化五年三月六日)

折紙
三一・五×四五・〇

No56-41-1-4

25 [法名書付]

〔備考〕 御系図参考書類

一紙

No56-41-1-5-5

20 [包紙] (森勤兵衛様御代々御法名御墓所并忠右衛門様御実家書付)

〔備考〕 毛利家系図及び覚書より高吉次男高知の記事を抜粋、「本紙江戸へ被遊御持候二付写置之 文化五辰三月六日」(包紙上書)、御系図参考書類

包紙
二八・四×三九・六

No56-41-1-5-0

26 [図書様実名之儀二付瀧御様衆へ問合并問付札書]

〔備考〕 元禄十二己卯十二月十六日森勝院殿二関無音居上ら五名の法名、御系図参考書類

一紙
一八・四×三三・八

No56-41-2-1

27 [包紙] (越前家へ問合之書面并右答書)

〔備考〕 御系図参考書類

包紙
二八・〇×四〇・七

No56-41-2-2-0

33 [包紙] (藤堂家・朽木家へ問合書并答書二付て右従是差越申書付下案)

〔備考〕 御系図参考書類

包紙
二七・五×九・七

No56-41-2-4-0

28 松平越前守様御家士

〔備考〕 御系図参考書類

一紙 (一枚継)
一六・〇×五八・〇

No56-41-2-2-1

34 覚書 (撰津守高成・伊豆守高尚・安房守高重など遺物献上記事)

〔備考〕 御系図参考書類

一紙 (一枚継)
一六・五×六四・五

No56-41-2-4-1

29 越前宰相様御家士

〔年月日〕 二月

一紙 (一枚継)
三三・二×八一・〇

No56-41-2-2-2

35 覚 (撰津守高成・駿河守高久ら遺物献上記事抜粋)

〔備考〕 御系図参考書類

紙
一六・五×四八・五

No56-41-2-4-2

30 [包紙] (真田家へ問合之書面并右答書)

〔備考〕 御系図参考書類

包紙
二七・五×三四・五

No56-41-2-3-0

36 下書 (系譜改に付藤堂家・朽木家への問合内容の下書)

〔備考〕 御系図参考書類

一紙
一六・五×四七・八

No56-41-2-4-3

31 [真田家へ問合書]

〔年月日〕 閏二月

一紙 (一枚継)
一七・四×一三三・六

No56-41-2-3-1

37 覚 (藤堂源助高虎内室の系譜について質問書)

〔年月日〕 三月

一紙
一七・八×四八・〇

No56-41-2-4-4

32 [真田家より回答書]

〔備考〕 森勤兵衛夫人は五代以前伊豆守幸道家来高橋五郎左衛門の妹のことなど、御系図参考書類

一紙 (一枚継)
一七・六×八八・〇

No56-41-2-3-2

38 [書状] (民部少輔植綱の女鯨江家との縁談について回答書)

〔年月日〕 三月九日

一紙 (一枚継)
一五・三×八八・〇

No56-41-2-4-5

39 [毛利数馬様御系図写寄通]

〔備考〕毛利伊勢守高政次男・同拱津守高成弟毛利数馬の系図、表題は包紙より、御系図参考書類
一紙(二枚継) 一
一六・五×五六・八

No.56-41-3-1

40 [京極家へ内問合答之書付]

〔備考〕豊後佐伯城主毛利周防守高寛祖陸江備前守兼高関連の系図、表題は包紙より、御系図参考書類
一紙(二枚継) 一
一五・八×二六・五

No.56-41-3-2

41 [書状] (毛利九郎左衛門領地の内二十石を毛利市三郎へ渡すこと)

〔年月日〕八月六日
〔作成〕曾根源左衛門・伊奈半十郎
〔宛先〕小川藤左衛門・小川九左衛門
〔備考〕御系図参考書類
一紙(二枚継) 一
一五・八×四七・一

No.56-41-3-3

42 [森十郎左衛門重高・豊後守重政略系図]

〔備考〕御系図参考書類
一紙(二枚継) 一
一六・二×二三・七

No.56-41-3-4

43 [届書] (台徳院遺物拝領・民部少輔一通遺物献上)

〔宛先〕(稲葉伊予守親通)
〔備考〕御系図参考書類
一紙(二枚継) 一
一七・七×四三・〇

No.56-41-3-5

44 覚 (高力右近実名平姓長成の書付)

〔年月日〕閏二月廿七日
〔備考〕「高力右近様御実名書」(包紙上書)、御系図参考書類
一紙 一
一八・〇×三〇・〇

No.56-41-3-6

45 [御問合書 谷川角兵衛]

〔備考〕御系図参考書類
包紙
一七・〇×一〇・〇

No.56-41-3-7-0

46 [書状] (信濃守通清公次男駿河守高久公の養子縁組日時など質問書)

〔作成〕谷川角兵衛
〔備考〕御系図参考書類
一紙 一
一七・六×四〇・一

No.56-41-3-7-1

47 [書状] (高久公森表にて出生の件など回答書)

〔年月日〕十月廿七日
〔作成〕□□八王
〔宛先〕谷川様御直覧
〔備考〕御系図参考書類
一紙(二枚継) 一
一六・二×八五・九

No.56-41-3-7-2

48 豊国会趣意書

〔年月日〕明治三十年二月七日(発行日)
〔作成〕岩松雅太郎(発行兼著作者)
〔備考〕豊国会に関する書籍、御系図参考書類
縦帳(二丁丁) 一
二六・九×一九・五

No.56-41-4

49 [毛利家系図]

〔備考〕展開不能、御系図参考書類
卷子
一八・七×(計測不能)

No.56-41-5

50 藤原姓毛利氏家系

〔備考〕政次から高久までの系図、御系図参考書類
卷子
二八・〇×四五・八

No.56-41-6

51 [系図]

〔備考〕清和天皇から定知までの系図、後半余白部分法量計測せず
卷子
二八・〇×九三・四・五

No.56-41-7

52 改選諸家系譜後編巻之八十四

〔備考〕清和天皇から定知までの系図、後半余白部分法量計測せず
卷子
二八・三×一、五〇三・九

No.56-41-8

53 [包紙] (浪江殿へ遣候系図抜書扣 四通)

〔年月日〕宝暦七年丑三月
〔備考〕御系図参考書類
包紙 二
三九・〇×二六・五

No.56-41-9-0

54 [毛利高慶系譜]

〔備考〕御系図参考書類
一紙 一
二七・七×三九・九

No.56-41-9-1

55 [毛利高久・高定系譜]

〔備考〕「系図草稿」(包紙上書)、御系図参考書類
一紙(二枚継) 一
三一・一×五九・五

No.56-41-9-2

56 [毛利氏系図草稿]

〔備考〕御系図参考書類
巻紙 一
二八・一×二三・八

No.56-41-9-3

57 [毛利氏系図写]

〔年月日〕寛永十九年五月日
〔作成〕毛利市三郎高直
〔宛先〕太田備中守(資宗)殿
〔備考〕毛利政次から高直まで、寛永十九年提出系図の写、御系図参考書類
卷子
三三・〇×四三・九

No.56-41-9-4

58 [毛利氏系図草稿]

〔備考〕毛利高政から高直までの系図、御系図参考書類
卷子
三三・〇×四三・九

No.56-41-9-5

59 非常持避背負葛籠納品目録

〔備考〕「一、御系図 豊太閤御感状其他御書類同納 七巻 蛸色箱納」など、御系図参考書類
一紙 一
二七・一×三三・七・六

No.56-41-10

60 [包紙] (公儀御系巻)

〔備考〕御系図参考書類
包紙 一
三四・九×四八・六

No.56-41-11

61 [包紙] (御系図関係御書類)

〔備考〕御系図参考書類
包紙 一
四八・一×六四・〇

No.56-41-12

62 [毛利家系図]

〔備考〕「先年公儀へ差出候系図扣」、高直まで記載、箱入り、袋あり、包紙あり、後半部余白有る部分法量計測せず、軸装
卷子
二九・四×三三・六

No.56-44

63 [毛利家系図]

「備考」高政から高範まで記載、箱入り、袋あり、後半部余白部分法量計測せず、軸装
卷子 一
二八・六×一、四三九・六
No56-45

三 毛利高政関連文書

5 [徳川秀忠御内書]

「年月日」八月九日
「作成」秀忠(花押)
「宛先」毛利伊勢守(高政)殿
「備考」「台徳院様御判物御内書」(包紙上書)、祝儀(太刀・腰・馬・疋)の返札状
折紙(檜紙) 一
四六・六×六六・六
No26-19-3

6 [包紙] (宝永七庚寅年閏八月四日毛利数馬より差越候書付写寄通)

包紙 一
二七・九×四〇・〇
No26-19-4

1 [藤堂高虎等連署注進状案]

「年月日」九月十八日
「作成」藤堂佐渡守高・脇坂中務少輔安治・菅平右衛門・藤堂宮内少輔・菅三郎兵衛尉・菅右衛門八・加藤佐馬助
「宛先」増田右衛門尉殿・石田治郎少輔殿・長束太蔵太輔殿・龍善院
「備考」「朝鮮御陣注進状」軸装・桐箱入
一紙(四枚綴) 一
一八・〇×一五五・五
No27-6

7 [豊臣秀吉朝鮮征伐御条目案]

「年月日」慶長二年二月廿一日
「作成」(御朱印)
「宛先」毛利民部太輔(高政)とのへ
「備考」「朝鮮征伐御条目志通」(包紙上書)
一紙(五枚綴) 一
二九・〇×二六四・五
No26-19-5

2 [木箱] (太閣よりの御感状御朱印外御重要書類)

木箱 一
四一・四×一八・〇
No26-19-0

8 [毛利氏略系図]

「備考」包紙のみ、毛利数馬(高輝)は毛利家分家旗本
一紙
三三・六×一三三・九
No26-19-6

3 [増田長盛・石田三成連署書状]

「年月日」十二月十六日
「作成」増田右(長盛花押)・石田治(三成花押)
「宛先」毛利民部太輔(高政)殿御返報
「備考」「増田右衛門殿・石田治部少輔殿より之御状志通」(包紙上書)、朝鮮水案での手柄注進の通り披露のこと、包紙二重
折紙 一
三一・五×四八・〇
No26-19-1

9 [立花左近書状]

「年月日」十一月朔日
「作成」立左近(花押)
「宛先」毛民太(高政)様
「備考」南原御感状の祝ひ、鉄砲「まなみや」方へ発注のこと、包紙あり
一紙
三〇・八×四五・〇
No26-19-7

4 [藤堂佐渡守高虎書状]

「年月日」十月十日
「作成」藤堂佐渡(高虎花押)
「宛先」毛民太(高政)様貴報
「備考」「藤堂佐渡守殿より之御状志通」(包紙上書)、備前中納言へ貴所手柄又南原の様子など上申、包紙二重
一紙(三枚綴) 一
一六・〇×一四四・〇
No26-19-2

10 [豊臣秀吉朱印状]

「年月日」(慶長二年)九月十三日
「作成」(豊臣秀吉朱印)
「宛先」毛利民部太輔(高政)とのへ
「備考」南原城十五日夜責め崩す、首級四十討捕、番船切捕度々手柄ありなど、包紙二重
折紙(檜紙) 一
四七・一×六六・九
No26-19-8

11 [包紙] (戸倉六郎兵衛先祖之感状等之写五通)

包紙 一
二七・五×三八・二
No26-19-9-0

17 [包紙] (高麗状之写 式通)

包紙 一
八・三×一〇・八
No26-19-10-0

12 [戸倉友重知行宛行状案]

「年月日」慶長三年八月十五日
「作成」民部太輔 友重在判
「宛先」森織部殿
「備考」日田郡の内二百石の知行加増のこと
切紙 一
三一・九×四五・九
No26-19-9-1

18 言上之とめ 番船へ民部大輔切乗候時

「年月日」九月十八日
「作成」藤堂佐渡守(高虎)他六名
「宛先」増田右衛門尉他四名
「備考」藤堂高虎等連署注進状案と同文
一紙(五枚綴) 一
一四・一×一四六・一
No26-19-10-1

13 [戸倉友重知行宛行状案]

「年月日」文禄五年五月十九日
「作成」民部太輔 友重在判
「宛先」森織部とのへ
「備考」日田郡大山庄の内五百石の知行宛行
切紙 一
三一・八×四六・〇
No26-19-9-2

19 言上之とめ 番船へ民部大輔切乗候時

「年月日」九月十八日
「作成」藤堂佐渡守(高虎)他六名
「宛先」増田右衛門尉他四名
「備考」藤堂高虎等連署注進状案と同文
一紙(四枚綴) 一
一五・七×一五九・五
No26-19-10-2

14 [戸倉友重恩賞宛行状案]

「年月日」九月廿七日
「作成」民部太夫 友重在判
「宛先」もりおりへ殿
「備考」高麗「なんむん」一番乗一番首取の功により知行二百石を遣す
切紙 一
三一・八×四六・一
No26-19-9-3

20 [包紙] (高麗陣之人數立之写寄通・感状之写式通)

包紙 一
四一・六×九・四
No26-19-11-0

15 [毛利高政知行宛行状案]

「年月日」慶長六年十二月十日
「作成」毛利民部太輔高政在判
「宛先」森織部とのへ
「備考」海士辺郡の内高千石の知行宛行
切紙 一
三一・八×四六・〇
No26-19-9-4

21 [包紙] (高麗状之写 二通)

包紙 一
三三・七×四四・四
No26-19-11-1-0

16 [毛利高政書状案]

「年月日」慶長十二年五月七日
「作成」伊勢守高政在判
「宛先」毛利惣八かたへ
「備考」織部跡式相続
切紙 一
三一・七×四六・〇
No26-19-9-5

22 [豊臣秀吉朱印状写]

「年月日」(慶長二年)九月十三日
「作成」御朱印
「宛先」毛利民部太輔(高政)とのへ
折紙 一
三三・八×四八・四
No26-19-11-1-1

23 [豊臣秀吉朱印状写]
[年月日] (慶長二年) 九月十三日
[作成] 御朱印
[宛先] 毛利民部太輔 (高政) とのへ

折紙
三二・三×四三・九

No.26-19-11-2

24 [朝鮮夜陣立書案]

[年月日] (慶長貳年二月廿一日御朱印有り)

一紙 (六枚継) 一
二八・九×二七・四

No.26-19-11-2

[備考] 「惣都合老四万千五百人」

25 南むんの城ニおゐて討捕くびの注文 毛利民部大輔分

[年月日] (慶長二年) 八月十五日

縦帳 (七丁) 一
二八・六×二〇・七

No.26-19-12

[備考] 「右之くひ数合四十一 此内老人生捕有」

26 [毛利氏系図下書]

一紙 (三枚継) 一
三二・六×一三七・二

No.26-19-13

[備考] 「下かき」(端裏)、「高直公御代公儀へ差上候系図扣下書共式通并太田備中守殿より之書状迄通」(包紙上書)、包紙一枚あり

27 [稲葉右京亮貞通書状写]

[年月日] 九月十日

折紙
三〇・三×四四・五

No.26-19-14

[作成] 稲右京入 御書判
[宛先] 毛利民太 (高政) 様人々御中
[備考] 「稲葉右京亮殿より之書状写迄通 此御本紙は津久見村大庄屋致所持候」(包紙上書)、けこや村替地の件

28 [太田備中守資宗書状]

[年月日] 六月六日

一紙
三一・六×四五・九

No.26-19-15

[作成] (太田資宗花押)
[宛先] 毛利市三郎 (高直) 様貴報
[備考] 毛利家系図提出に関するもの、坂斗一箱の札状

29 [藤堂高虎等連署注進状案写]

[年月日] (慶長二年) 九月十八日

一紙 (四枚継)

No.26-19-16

[作成] 藤堂佐渡守高虎他六名
[宛先] 増田右衛門尉殿他四名
[備考] 「御書付 迄通」(包紙上書)

30 [包紙] (高麗ちんの人數たてのうつし・かん状のうつし)

包紙

No.26-19-17

31 [書付]

一紙

No.26-19-18

[備考] 「藩祖高政公文祿四年高麗御陣の砌水營と申す所にて明船へ御乗込御刺戟の節 式ヶ所の御手紙有之御下召」

32 [豊臣秀吉朱印状写]

[年月日] (慶長二年) 九月十三日

折紙
四六・三×六二・四

No.26-19-19

[作成] (秀吉朱印写)
[宛先] 毛利民部大輔とのへ
[備考] 「太閤より之御感状御朱印」(包紙、虫損あり)

33 入記

一紙

No.26-19-20

[備考] 台徳院様御判物御内書など文書目録

34 [包紙] (朝鮮征伐御条目吉通等)

包紙

No.26-19-21

[備考] 表題他七件八通の文書の包紙

35 [桐箱] (古伊勢守様へ稲葉右京亮様より被進候御状一通)

箱
三二・〇×八二×四二・五

No.56-1-0

36 [稲葉右京亮貞通書状写]

[年月日] 九月十日

一紙 (三枚継) 一
一七・五×九八・〇

No.56-1-1

[作成] 稲 右京入 (貞通)
[宛先] 毛利民部太様人々御中
[備考] けこや村替地の件、包紙あり

37 [御元祖様伊勢守様へ稲葉右京亮様より被進御状扣]

[年月日] 九月十日

折紙
三〇・二×四三・八

No.56-1-2

[作成] 稲 右京入 (貞通)
[宛先] 毛利民部太様人々御中
[備考] けこや村替地の件、包紙あり、表題は包紙より

38 [稲葉貞通書状]

[年月日] 九月十日

折紙
三一・五×四六・八

No.56-1-3

[作成] 稲 右京入 (貞通花押)
[宛先] 毛利民部太様人々御中
[備考] けこや村替地の件

四 御先代様御書

1 [箱] (御先代様御書)

箱

二六・〇×一一・五×九・〇

No.56-2-0

7 [蜂須賀阿波守至鎮書状]

[年月日] 三月廿八日

折紙
三五・一×五〇・七

No.56-2-6

[作成] 蜂 阿波守至鎮 (花押)
[宛先] 毛 勢州様人々御中
[備考] 本日罷出の件

2 御実名

[年月日] 貞享五戊辰年八月吉祥日

折紙
三二・〇×四四・五

No.56-2-1

[作成] 法印有通謹考之

[備考] 「高定取納字耕」、「嘉永二西十月改」 「源林院様御実名」(包紙上書)

3 覚 (宮参り次第書)

[年月日] 四月十五日

一紙 (三枚継)

No.56-2-2

六・五×二五・六

4 覚 (産後祝義の取り扱)

[年月日] 四月

一紙 (一枚継)

No.56-2-3

一八・四×二七・四

5 [木右衛門書状]

[年月日] 三月廿七日

一紙
三五・一×四七・〇

No.56-2-4

[作成] 木右衛門 (花押)
[宛先] 勢州さま
[備考] お迎えの件

6 [書状]

[年月日] 三月廿七日

一紙 (断簡)

No.56-2-5

[備考] 前欠、「罷出へき沙たも無之哉」とあり

8 [毛利内膳一政書状]
〔年月日〕三月廿九日
〔作成〕毛利内膳一政(花押)
〔宛先〕摂津守(毛利高成)様
〔備考〕爰元普請の件など、包紙あり
折紙 三一・〇×四二・七
No.56-2-7

9 [江戸幕府老中連署書状]
〔年月日〕七月十九日
〔作成〕久世天和守之・稲葉美濃守正則・阿部豊後守忠秋・酒井雅楽頭忠清(花押)
〔宛先〕毛利伊勢守殿
〔備考〕去月廿二日在所到着の件、包紙あり
折紙 四〇・五×五六・〇
No.56-2-8

10 [毛利伊勢守高政書状]
〔作成〕毛利伊勢守高政
〔宛先〕毛利摂津守(高成)殿
〔備考〕後欠、茶壺差し下しの件、摂津守江戸参府の指示など
一紙 一五・八×六一・二
No.56-2-9

11 [竹村助之丞家次書状]
〔年月日〕三月廿七日
〔作成〕竹村助之丞家次(花押) 伏見より
〔宛先〕毛利伊勢守様
〔備考〕太刀の柄(五つ)、皮の巻き直しのこと
折紙 三二・八×四五・〇
No.56-2-10

12 [毛利高政書状]
〔作成〕高政(花押)
〔宛先〕右衛門大夫様
〔備考〕「これにて御食可参之旨御満足候」とあり
一紙 三五・八×五〇・一
No.56-2-11

13 [包紙] (丑四月初日江戸御口(破) 同廿五日着同廿五日御返事済)
〔作成〕毛利口(破)
〔宛先〕口(破) 周防守
包紙 二七・七×三七・二
No.56-2-12

20 覚(「此度八刃鉄砲申付」のこと)
〔年月日〕七月十七日
一紙 一六・二×二二・五
〔備考〕破損あり
No.56-2-19

21 [毛利周防守高慶書状]
〔年月日〕四月朔日
〔作成〕周防守(高慶)
〔宛先〕摂津守殿(高通)
〔備考〕松平左近将監西九下御宅焼失に付見舞の件など
一紙(四枚継) 一
一六・九×二一九・〇
No.56-2-20

22 [浪江書状]
〔年月日〕七日
〔作成〕浪江
〔宛先〕三右衛門様
〔備考〕七種祝儀について、包紙あり
折紙 三一・八×四五・二
No.56-2-21

23 口上(肥後国御仕置に付いて)
〔年月日〕(寛永九年) 六月十九日
〔作成〕酒井讃岐守忠勝・土井大炊頭利勝・酒井雅楽頭忠世(花押)
〔宛先〕毛利摂津守(高成)殿
〔備考〕包紙あり
折紙 四〇・三×五六・〇
No.56-2-22

五 毛利高慶関連文書

1 [桐箱] (源林院殿御遺言書)
桐箱 一
三三・〇×二二・五×四・七
No.56-43-0

14 [森修理大夫書状断簡]
〔作成〕森 修理大夫
〔宛先〕毛利伊勢守人々御中
〔備考〕書状一部を切り抜いたもの
一紙(断簡) 一
一六・二×二〇・六
No.56-2-13

15 [包紙]
〔作成〕酒井讃岐守
〔宛先〕毛 摂津守
包紙 二二・五×二八・〇
No.56-2-14

16 [包紙] (肥後御在番之状 彦通)
包紙 三七・四×三三・五
No.56-2-15

17 覚(大和守高能縁組の件)
〔年月日〕四月十一日
〔作成〕周防守(高慶)
〔宛先〕摂津守(高通)殿
〔備考〕松平左近将監姪子玄蕃頭嫡女との縁組の件
一紙(五枚継) 一
一六・二×二四・五
No.56-2-16

18 [江戸幕府老中連署書状]
〔年月日〕八月十九日
〔作成〕久世天和守之・稲葉美濃守正則・阿部豊後守忠秋・酒井雅楽頭忠清(花押)
〔宛先〕毛利伊勢守殿
〔備考〕三歳の子息届出の由承知のこと、包紙あり
折紙 四〇・四×五六・一
No.56-2-17

19 [毛利周防守高慶書状]
〔年月日〕(享保七年) 七月三日
〔作成〕毛 周防守高慶(花押)
〔宛先〕毛利摂津守(高通)殿
〔備考〕明後三日登城の件、幕府財政難に付上納米と参勤交代緩和の件
一紙(三枚継) 一
一六・〇×二六・五
No.56-2-18

2 [包紙] (毛利大和守殿 毛周防守)
包紙 一八・五×九・〇
〔備考〕裏に「高慶」の印あり
No.56-43-1

3 [包紙] (従源林院殿靈性院殿へ被残置候御遺言巻冊)
包紙 一九・五×九・五
〔備考〕裏に「高慶」の印あり
No.56-43-2

4 [包紙] (文化十四年閏十一月廿二日源林院殿御遺書若狭守拝見仕封)
〔年月日〕文化十四年閏十一月廿三日
包紙 二〇・五×二六・五
No.56-43-3

5 [包紙] (天保四巳歳七月六日源林院殿御遺書伊勢守拝見改封)
〔年月日〕天保四年巳歳七月六日
包紙 二二・五×二六・五
No.56-43-4

6 [包紙] (明治二巳年十月十日源林院殿御遺書伊勢守拝見改封)
〔年月日〕明治二巳年十月十日
包紙 二二・五×二六・〇
〔備考〕裏に「高謙」の印あり
No.56-43-5

7 [包紙] (明治三十四年五月三日源林公乃遺言書高範謹封)
〔年月日〕明治三十四年五月三日
包紙 二二・五×二六・五
〔備考〕裏に「高範」の朱印あり
No.56-43-6

8 [包紙] (十三代の時松平より 毛利家代々の君へ)

包紙 一
二七・二×四〇・五

No.56-43-7

9 源林院殿御遺言書

[年月日] 元文元年五月日

[作成] 毛周防守

[宛先] 毛利大和守殿

[備考] 桐箱入、七枚の包紙にて嚴封

横帳(五丁) 一
一六・五×四六・五

No.56-43-8

10 [包紙] (元文三年十月廿八日松平右京大夫殿小石川屋鋪にて興行候筈懸繪図并添書)

包紙 一
三〇・二×一〇・三

No.56-4-0

11 松平右京大夫殿小石川屋敷座鋪之図

図面 一
三二・七×四五・〇

No.56-4-1

[備考] 破損甚大、包紙あり

12 元文三年十月廿八日松平右京大夫殿小石川下屋鋪にて筈懸興行覚

[年月日] (元文三年十月廿八日)

一紙(四枚継) 一
一七・八×三二・〇・八

No.56-4-2

[備考] 次第書、包紙あり

13 [包紙] (肥後御在番之御状書通等)

包紙 一
四二・〇×二五・〇

No.56-7-0

14 覚 (居城石垣修復願)

[年月日] 二月廿九日

[作成] 毛利周防守(高慶)

[備考] 「公儀へ被差上候御書付写」(包紙上書)とあり、包紙あり

一紙 一
一八・三×一九・三

No.56-7-1

15 [領知目録写]

[年月日] 享保二年八月十一日

[作成] (御朱印)

[宛先] 毛利周防守(高慶)とのへ

[備考] 海部郡の内二六ヶ村高三万石知行宛行状の写、包紙(二重)あり

一紙(横紙) 一
四七・九×六五・三

No.56-7-2

16 [文昭院様薨御之儀被仰渡候節之御書付写]

[年月日] 正徳二年十月九日

[作成] (御朱印)

[備考] 天下静謐の教諭書、包紙あり

一紙(二枚継) 一
三二・五×九〇・五

No.56-7-3

17 [内藤大和守重頼書状]

[年月日] 二月四日

[作成] 内藤大和守重頼(花押)

[宛先] 毛利周防守(高慶)様

[備考] 官位口宣、吉良上野介へ渡し方のこと、包紙あり

折紙 一
三五・八×四九・七

No.56-7-4

18 馬薬方書

[作成] 関十左衛門・中彦左衛門

[備考] 「此書面御前より御免文又ハ神文不被仰付候面々、見不相成候」(表紙、源林院様御流近衛流御馬薬方書) (包紙、包紙あり)

横帳(三丁) 一
一四・八×三二・〇

No.56-8-1

19 [包紙] (源林院様御代事之御謠初之式書)

包紙 一
一九・五×六・五

No.56-8-2-0

[備考] 「外二古代成之書付」(包紙上書)

20 [御謠式書]

一紙 一
三二・五×四三・六

No.56-8-2-1

[備考] 「我等より寅太郎へ盃遣次次郎へ盃遣候節、春耕・佐治馬など人名あり、破損あり

21 [古代成之書付]

一紙 一
三二・三×四三・〇

No.56-8-2-2

[備考] 「高階重経卿曰」と「源泰綱曰」の二部分から成る

22 [包紙] (源林院七十賀手鏡依頼の件)

包紙 一
二四・七×一六・七

No.56-8-3-0

[備考] 「三条西様へ源林院様御七十賀ニ付御手鏡御頼被成候ニ付御家司兩人へ彦左衛門より書状案文入」(包紙上書)

23 [添状] (別紙通りの文言にて遣すべきこと)

[年月日] 廿九日

一紙(二枚継) 一
一五・二×一八・七

No.56-8-3-1

[宛先] 彦左衛門殿

24 [周防守七十賀手鏡調達依頼に関する案文]

[作成] 中村彦左衛門

一紙(二枚継) 一
一五・一×五六・三

No.56-8-3-2

25 [周防守七十賀手鏡調達依頼に関する書状]

[年月日] 十一月二日

一紙(二枚継) 一
一四・九×六一・三

No.56-8-3-3

[宛先] 河村佐渡守様・松平図書頭様人々御中

14 覚 (居城石垣修復願)

[年月日] 二月廿九日

[作成] 毛利周防守(高慶)

[備考] 「公儀へ被差上候御書付写」(包紙上書)とあり、包紙あり

一紙 一
一八・三×一九・三

No.56-7-1

15 [領知目録写]

[年月日] 享保二年八月十一日

[作成] (御朱印)

[宛先] 毛利周防守(高慶)とのへ

[備考] 海部郡の内二六ヶ村高三万石知行宛行状の写、包紙(二重)あり

一紙(横紙) 一
四七・九×六五・三

No.56-7-2

16 [文昭院様薨御之儀被仰渡候節之御書付写]

[年月日] 正徳二年十月九日

[作成] (御朱印)

[備考] 天下静謐の教諭書、包紙あり

一紙(二枚継) 一
三二・五×九〇・五

No.56-7-3

17 [内藤大和守重頼書状]

[年月日] 二月四日

[作成] 内藤大和守重頼(花押)

[宛先] 毛利周防守(高慶)様

[備考] 官位口宣、吉良上野介へ渡し方のこと、包紙あり

折紙 一
三五・八×四九・七

No.56-7-4

18 馬薬方書

[作成] 関十左衛門・中彦左衛門

[備考] 「此書面御前より御免文又ハ神文不被仰付候面々、見不相成候」(表紙、源林院様御流近衛流御馬薬方書) (包紙、包紙あり)

横帳(三丁) 一
一四・八×三二・〇

No.56-8-1

19 [包紙] (源林院様御代事之御謠初之式書)

包紙 一
一九・五×六・五

No.56-8-2-0

[備考] 「外二古代成之書付」(包紙上書)

26 [添状] (別紙の通り手鏡入用の件)

[年月日] 二日

[作成] 彦左衛門

[宛先] 佐渡守様・図書様

一紙 一
一四・九×三二・〇

No.56-8-3-4

27 [包紙] (実岑卿最上川御詠之儀ニ付小川土佐守へ御尋被遣候処実説之由申来書状)

包紙 一
三二・三×四三・〇

No.56-8-4-0

[備考] 「源林院様御代中村彦左衛門ヲ以御問合」とあり

28 [実岑卿和歌]

[年月日] (元文二巳三月)

一紙(二枚継) 一
一六・三×五・〇

No.56-8-4-1

[備考] 仙洞御当座で詠まれたもの

29 [小川土佐守祐寿書状]

[年月日] 閏十二月廿二日

[作成] 小川土佐守祐寿(花押)

[宛先] 中村彦左衛門様

[備考] 二月十三日実岑卿不逢慈の歌に関する問い合わせへの回答

折紙 一
三三・六×四五・〇

No.56-8-4-2

30 覚 (宗対馬守殿麻疹にて大坂にて死去ニ付跡目願書手続之御書付)

[年月日] 十一月十三日

[作成] (源林院)

[備考] 「嘉永二年十月改」(包紙上書)

一紙(三枚継) 一
一六・三×一〇・〇

No.56-8-5

31 [御朱印知行目録写]

[年月日] 正徳二年四月十一日

[作成] 松平備前守・安藤右京亮

[宛先] 毛利周防守(高慶)殿

[備考] 包紙あり

一紙(二枚継) 一
三五・七×九・五

No.56-8-7

32 中院前内府様御内小川土佐守へ御用申遣候諸色留帳

〔年月日〕 享保十三年申ノ正月より

横帳 (四十七丁) 一
一四・二×二〇・七

Na56-8-8

〔備考〕 小川土佐守との書状往返の記録、「源林院様御代京都中院様へ御和歌御用二付 関十左衛門より家司小川土佐守へ懸合候留帳」(包紙上書)、包紙あり

33 〔包紙〕 (享保七壬寅年九月十八日御狩場騎馬勢子被仰付候書付)

〔年月日〕 (享保七年九月十八日)

包紙 一
一三・七×三三・五

Na56-10-1-0

34 〔御狩場勢子騎馬等備立書〕

〔年月日〕 (享保七年九月十八日)

一紙 (二枚継) 一
三六・〇×九五・〇

Na56-10-1-1

〔備考〕 狩場出向の人名など書付

35 享保七寅年九月十八日駒場原迄鳥騎馬勢子

〔年月日〕 (享保七年九月十八日)

横帳 (二丁) 一
一四・五×四〇・五

Na56-10-1-2

〔備考〕 人名書付、虫喰あり

36 〔御狩場勢子配置図〕

〔備考〕 虫喰破損あり

一紙 一
二八・四×三八・七

Na56-10-1-3

37 〔包紙〕 (享保十九寅二月御留守中勤方等之儀二付御書)

〔年月日〕 (享保十九年二月)

包紙 一
二六・〇×九・九

Na56-10-2-0

44 〔覚〕 (領分作毛虫付損耗に付参勤献上物減少)

〔年月日〕 (享保十八年) 正月

一紙 一
一五・二×四四・八

Na56-10-3-2

45 〔覚〕 (領分作毛虫付損耗に付参府人数減少及び来年の門番・火の番拜命)

〔年月日〕 (享保十八年) 正月

一紙 一
一五・二×三九・九

Na56-10-3-3

46 〔包紙〕 (被仰渡御書付之写式通)

〔年月日〕 (享保十七年)

包紙 一
二六・七×二〇・〇

Na56-10-4-0

47 〔覚〕 (当所務半物成以上不足の分へ拝借金のこと)

〔年月日〕 (享保十七年)

一紙 一
一五・六×五九・一

Na56-10-4-1

48 覚 (松平左京大夫ら十六名への仰渡し本日相済)

〔年月日〕 (享保十七年) 九月廿八日

一紙 (二枚継) 一
一五・六×六四・二

Na56-10-4-2

49 覚 (石高別拝借金高の書付)

〔年月日〕 子 (享保十七年) 九月

一紙 (二枚継) 一
一五・七×六七・五

Na56-10-4-3

〔備考〕 金子は大坂にて拝借、来寅年より五ヶ年賦上納のこと

38 覚 (留守中心得書)

〔年月日〕 寅 (享保十九年) 二月

横帳 (三丁) 一
一七・〇×四六・〇

Na56-10-2-1

〔宛先〕 長溝七右衛門・中老之者・妙貞
〔備考〕 「奥向留守中書付」(包紙上書)、包紙あり

39 二月十五日御前へ被召出御留守中勤方等之儀被仰渡候御書付写

〔年月日〕 享保十九年寅二月

横帳 (六丁) 一
一四・〇×四〇・〇

Na56-10-2-2

40 奥向用事

〔年月日〕 酉ノ二月

横帳 (三丁) 一
一八・二×四九・五

Na56-10-2-3

〔備考〕 留守中の心得書

41 覚 (勤方心得書)

〔年月日〕 二月廿一日

一紙 (二枚継) 一
一七・〇×八・六

Na56-10-2-4

〔宛先〕 御仕置人共・郡代共・目付共

42 〔包紙〕 (御献上等御減少之儀被仰出候御書附写三通)

〔年月日〕 (享保十八年正月廿三日)

包紙 一
一四・一×三三・〇

Na56-10-3-0

〔備考〕 「享保十八年正月廿三日松平左近将監様へ古川仁右衛門被召呼被仰渡候」(上書)

43 〔覚〕 (参勤時進物等三ヶ年間減少のこと)

〔年月日〕 (享保十八年)

一紙 (二枚継) 一
一五・三×六八・四

Na56-10-3-1

50 虫付損耗二付拝借被仰付候分

〔年月日〕 正月十一日

一紙 (五枚継) 一
一六・〇×一八・〇

Na56-10-5

51 覚 (佐伯城より大坂への里程書付差出依頼)

〔年月日〕 閏四月

一紙 一
一四・九×一五・一

Na56-10-6

〔備考〕 各大名別の拝借高の書付、虫喰甚大

52 〔覚〕 (西国筋虫喰に付百姓町人米買請と代銀納について通達)

〔年月日〕 (享保十七年) 十一月

一紙 (三枚継) 一
一六・三×一〇・六

Na56-10-7

53 〔包紙〕 (虫付損毛二付御献上物端午重陽成登其外不時之被差上物当五年より知年迄三ヶ年之御御捨)

〔年月日〕 (享保十八年正月廿三日)

包紙 一
二九・〇×九・五

Na56-10-8-0

54 〔虫付之衆・参勤御暇之衆書付〕

〔年月日〕 (享保十八年) 年正月廿三日 (包紙上書)

一紙 (三枚継) 一
一五・〇×七・三

Na56-10-8-1

55 〔虫付二付献上物其外三ヶ年御捨書付〕

〔年月日〕 (享保十八年) 正月

一紙 (三枚継) 一
一六・五×一五・一

Na56-10-8-2

〔備考〕 参勤の進物別紙の通り三ヶ年用捨、参勤時進物無用のこと、参勤人数減少のこと、包紙あり

56 「虫付二付飢人相持数可申旨松平左近将監殿より御渡候書付」

〔年月日〕 (享保十七年) 十二月

一紙 (二枚継) 一
一五・六×七七・八

Na56-10-8-3

〔備考〕 領内餓死者をささめよう通達、包紙あり

57 「虫付二て無之衆五参勤御暇之書付」

〔年月日〕 (享保十八年)

一紙 (五枚継) 一
一五・〇×一三三・二

Na56-10-8-4

〔備考〕 御参勤虫附御損毛無御座御方々様ら四十二名の人名書付、包紙あり

58 「包紙」 (佐伯領分中人数男女書分之書付等)

〔備考〕

包紙 一
二〇・〇×二八・五

Na56-10-8-5-0

59 「佐伯領分中人数高男女書分之書付」

〔年月日〕 子 (享保十七年) 八月

一紙 一
一六・二×二五・四

Na56-10-8-5-1

〔備考〕 人数三万五千五百二十一人の内訳

60 覚 「虫付損毛物成高田畑書付」

〔年月日〕 (享保十七年) 八月廿六日

一紙 一
四・七×二七・五

Na56-10-8-5-2

〔備考〕 高一万六千八百石 (此米六千三百三十三石) など内訳

61 覚 「佐伯領飢人男女之書付」

〔年月日〕 二月七日

一紙 (二枚継) 一
一五・〇×四九・七

Na56-10-8-5-3

〔備考〕 飢人五千二十一人・夫食付与人数七十一人など

62 「虫付二付小野次郎右衛門殿より来候御遣之書付」

〔作成〕 (小野次郎右衛門)

一紙 (二枚継) 一
一五・五×六九・五

Na56-10-8-6

〔備考〕 飢饉中の領内作略に付いて進言、「何と哉覽取候て作略有之様子ニ無之哉之様ニも相聞候」とあり、包紙あり

63 「包紙」 (御書付三通)

〔備考〕

包紙 一
三二・〇×二〇・〇

Na56-10-8-7-0

64 「御書付」 (参勤時進物減少)

〔年月日〕 (享保十八年) 正月

一紙 (二枚継) 一
二〇・一×八三・九

Na56-10-8-7-1

〔宛先〕 毛利周防守高慶)

65 「御書付」 (拝借金の面々は参勤進物用捨のこと)

〔年月日〕 (享保十八年) 正月

一紙 一
二〇・一×五六・二

Na56-10-8-7-2

〔宛先〕 毛利周防守 (高慶) へ

66 「御書付」 (参勤の人数及び今年の門番・火の番免除のこと)

〔年月日〕 (享保十八年) 正月

一紙 一
二〇・一×五六・二

Na56-10-8-7-3

〔宛先〕 毛利周防守 (高慶) へ

67 享保十三戊申年十月十四日衣冠大行列

〔年月日〕 享保十三戊申年十月十四日

一紙 (三枚継) 一
六・六×七・六

Na56-10-9

〔備考〕 「享保十三申年十月十四日源林院様御代文昭院様御法事二付増上寺へ公方様御成之節供奉御勤被遊候二付御行列御書付入」 (包紙上書)、「嘉永二酉十一月改」 (包紙上書)、「包紙あり

68 「包紙」 (享保卯年宗对馬守殿飯養子之願書)

〔備考〕

包紙 一
二四・五×一六・九

Na56-10-10-0

〔備考〕 「二月三日来ルと有之候」、「嘉永二酉十一月改」と上書にあり

69 「氏江浅之丞養子願に付主水と改名届」

〔年月日〕 三月二日

一紙 一
二八・〇×一七・六

Na56-10-10-1

〔作成〕 宗对馬守

70 「実弟氏江主水養子願」

〔年月日〕 享保廿卯年三月二日

一紙 (二枚継) 一
二七・八×四五・〇

Na56-10-10-0

〔作成〕 宗对馬守 (印判・据判)

〔宛先〕 松平左近将監殿・酒井讃岐守殿・松平伊豆守殿・本多中務大輔殿

71 系図并覚書之中書抜

〔年月日〕 (享保十六年正月廿五日)

折紙 一
三二・八×四六・五

Na56-10-11

〔備考〕 京極氏系図書抜、「享保十六年正月廿五日殿中にて京極四郎左衛門殿より受取候書付系図ニ差添置可申候」 (包紙上書)、「包紙あり

72 享保元年申八月吉宗公將軍宣下之節東園前中納言殿御馳走中覚書

〔年月日〕 (享保元年申八月)

一括 (十枚) 一
一五・〇×七・三

Na56-10-12

〔備考〕 馳走中の次第書

73 覚 (江戸表用金の処理について)

〔年月日〕 申 (元文五年) 七月五日

一紙 (二枚継) 一
一六・二×六七・五

Na56-13-2

〔作成〕 周防 (高慶印)

〔宛先〕 中根佐治馬殿

〔備考〕 江戸表用金千二百両の内、六百両を中根方へ差越し、残金は閉置の指示

62 「虫付二付小野次郎右衛門殿より来候御遣之書付」

〔作成〕 (小野次郎右衛門)

一紙 (二枚継) 一
一五・五×六九・五

Na56-10-8-6

〔備考〕 飢饉中の領内作略に付いて進言、「何と哉覽取候て作略有之様子ニ無之哉之様ニも相聞候」とあり、包紙あり

63 「包紙」 (御書付三通)

〔備考〕

包紙 一
三二・〇×二〇・〇

Na56-10-8-7-0

64 「御書付」 (参勤時進物減少)

〔年月日〕 (享保十八年) 正月

一紙 (二枚継) 一
二〇・一×八三・九

Na56-10-8-7-1

〔宛先〕 毛利周防守高慶)

65 「御書付」 (拝借金の面々は参勤進物用捨のこと)

〔年月日〕 (享保十八年) 正月

一紙 一
二〇・一×五六・二

Na56-10-8-7-2

〔宛先〕 毛利周防守 (高慶) へ

66 「御書付」 (参勤の人数及び今年の門番・火の番免除のこと)

〔年月日〕 (享保十八年) 正月

一紙 一
二〇・一×五六・二

Na56-10-8-7-3

〔宛先〕 毛利周防守 (高慶) へ

67 享保十三戊申年十月十四日衣冠大行列

〔年月日〕 享保十三戊申年十月十四日

一紙 (三枚継) 一
六・六×七・六

Na56-10-9

〔備考〕 「享保十三申年十月十四日源林院様御代文昭院様御法事二付増上寺へ公方様御成之節供奉御勤被遊候二付御行列御書付入」 (包紙上書)、「嘉永二酉十一月改」 (包紙上書)、「包紙あり

74 「包紙」 (御印形之御書付戸倉織部へ成被下候付寛保元酉年十二月十日着仕候)

〔備考〕

包紙 一
二七・〇×一九・七

Na56-13-3-0

〔年月日〕 元文五申年閏七月七日

〔作成〕 中根左治馬・山中新兵衛・児玉又左衛門 (印)

〔備考〕 御用金の内六百両は立会封印 (閉置) のこと

〔備考〕 御用金の内六百両は立会封印 (閉置) のこと

〔備考〕 御用金の内六百両は立会封印 (閉置) のこと

Na56-13-3-1

76 覚 (金六百両囲金として封印のこと)

〔年月日〕 (寛保元年) 酉十一月十二日

一紙 一
一六・六×四六・五

Na56-13-3-2

〔作成〕 周防 (高慶印)

〔宛先〕 戸倉織部殿

〔備考〕 委細は黒木右膳方より申越のこと

77 「包紙」 (源林院様御召古被下覚帳・御刀拵目録等)

〔備考〕

包紙 一
三二・八×四六・五

Na56-35-13

〔備考〕 委細は黒木右膳方より申越のこと

78 「包紙」 (源林院殿御道具・御召古など)

〔年月日〕 寛保三亥年十一月

包紙 一
三二・八×四六・五

Na56-35-14

〔備考〕 委細は黒木右膳方より申越のこと

79 源林院殿様御召古鶴屋敷馬殿へ被進候品々并御家中へ被下物覚帳

〔年月日〕 寛保三亥年十一月

縦帳 (八丁) 一
二七・七×一〇・五

Na56-35-15

〔作成〕 長谷川丹下・黒木右膳

〔宛先〕 中根佐治殿・戸倉織江殿

〔備考〕 虫損大

80 [包紙] (「源林院様御書并諸御書付入 但豊瀬暇願出一件御書付入」)

包紙 一
二七・〇×二二・三

No.56-36-1-0

81 [覚] (玉目五匁など)

一紙 一
一五・二×七・二

No.56-36-1-1

82 神おろし

[備考] 破損甚大の為展開不能

一紙 (六枚継) 一
一四・五×二三・六

No.56-36-1-2

83 露入之覚

[備考] 「抑敬可申ス上ハ金銀しめ上ケ下ハしたハニつまる」など、破損甚大

一紙 一
一六・二×三六・五

No.56-36-1-3

84 [包紙] (「源林院様御書 虫喰切々大損」)

[備考] 「右は公儀より御尋ニ付撰津国露左衛門方より差上候由也」とあり

包紙 一
二五・〇×二七・〇

No.56-36-1-4-0

85 請取之事

[年月日] 享保十七年「」(破)

[作成] 毛利周防守(高慶) 印

[宛先] □□(破)

[備考] 虫附損毛に付金三千兩の請取、破損あり

一紙 一
一一・〇×四一・七

No.56-36-1-4-1

86 今日御金御渡被成候

[年月日] 十一月廿三日

一紙 (二枚継) 一
一五・八×四二・〇

No.56-36-1-4-2

87 [拝借金に関する断簡]

[備考] 松平幸千代以下十三名の領主への拝借金高書付

一紙 (断簡) 一
一〇・〇×六二・〇

No.56-36-1-4-3

88 [毛利周防守高慶書状]

[年月日] (享保十七年) 閏五月廿八日

[作成] 周防守(高慶)

[宛先] 撰津守(高通) 殿

[備考] 温知政要の返答書追付送付のこと、「子七月着」(包紙上書、包紙あり)

一紙 (二枚継) 一
一六・三×六八・五

No.56-36-1-5

89 毎月之定

[年月日] 五月十七日

一紙 (四枚継) 一
一八・四×二二・八・五

No.56-36-1-6

90 [覚] (六月出座之節の準備に関するもの)

[年月日] 三月五日

一紙 (二枚継) 一
一八・三×七二・〇

No.56-36-1-7

91 覚(助十郎来春御目見の件)

[年月日] 六月廿一日

一紙 (三枚継) 一
一六・三×二二・〇

No.56-36-1-8

92 [申送書]

[年月日] 十一月廿七日

[作成] 周防(高慶)

[宛先] 中根左治馬・長谷川文左衛門・戸倉織部・長溝七右衛門

[備考] 西丸での刑部卿機嫌損じの一件について、その一件書写を寅太郎・内膳などへ通知、破損あり

一紙 (六枚継) 一
一三・五×二二・五

No.56-36-1-9

93 [覚] (奥年寄豊瀬暇願に関するもの)

[年月日] (十月廿二日)

一紙 (二枚継) 一
一三・七×三七・〇

No.56-36-1-10

94 覚(出産祝贈答品について)

[年月日] 五月十一日

一紙 (四枚継) 一
一三・八×一三二・五

No.56-36-1-11

95 覚(豊瀬暇願の件)

[備考] 破損・虫喰大

一紙 (四枚継) 一
一四・七×一五一・五

No.56-36-1-12

96 覚(宮参の入用物品書付)

一紙 (二枚継) 一
一六・二×五二・七

No.56-36-1-13

97 [書状]

[年月日] 廿三日

一紙 (三枚継) 一
一四・五×六六・五

No.56-36-1-14

[宛先] 十左衛門殿・彦左衛門殿
[備考] 豊瀬一件について

86 今日御金御渡被成候

[年月日] 十一月廿三日

一紙 (二枚継) 一
一五・八×四二・〇

No.56-36-1-4-2

87 [拝借金に関する断簡]

[備考] 松平幸千代以下十三名の領主への拝借金高書付

一紙 (断簡) 一
一〇・〇×六二・〇

No.56-36-1-4-3

88 [毛利周防守高慶書状]

[年月日] (享保十七年) 閏五月廿八日

[作成] 周防守(高慶)

[宛先] 撰津守(高通) 殿

[備考] 温知政要の返答書追付送付のこと、「子七月着」(包紙上書、包紙あり)

一紙 (二枚継) 一
一六・三×六八・五

No.56-36-1-5

89 毎月之定

[年月日] 五月十七日

一紙 (四枚継) 一
一八・四×二二・八・五

No.56-36-1-6

90 [覚] (六月出座之節の準備に関するもの)

[年月日] 三月五日

一紙 (二枚継) 一
一八・三×七二・〇

No.56-36-1-7

91 覚(助十郎来春御目見の件)

[年月日] 六月廿一日

一紙 (三枚継) 一
一六・三×二二・〇

No.56-36-1-8

98 [覚] (「といの口舟通り不申」件について)

[年月日] 十日

一紙 (三枚継) 一
一四・三×八二・〇

No.56-36-1-15

99 覚(七夜祝義の次第書)

[備考] 「帳面写済」とあり

一紙 (三枚継) 一
一六・五×八六・〇

No.56-36-1-16

100 覚(久留嶋信州年々取箇之書付彼方江戸留守詰人数知行并其外扶持取之もの書付)

[年月日] 丑二月

一紙 (四枚継) 一
一四・六×二二・〇

No.56-36-1-17

101 [田布流炮術之間敷]

[作成] (田原新蔵差出し候)

折本(十六折) 一
一一・三×六六・五

No.56-36-1-18

102 刀附

[備考] 表題は包紙より

縦帳(五丁) 一
一六・〇×二二・〇

No.56-36-1-19

103 覚(竹千代様「御のほり」の件)

[年月日] 五月四日

一紙 (三枚継) 一
一六・〇×二二・〇

No.56-36-2

[備考] 「源林院様御書竹千代様御蔵御道具之數共二、柳兵部少輔様より御開被成候御縁組中四度之御定之事御座席等之覚書」(包紙上書)、虫喰破損甚大、包紙あり

104 吉良右京大夫咄之趣

〔年月日〕十一月廿七日

一紙(三枚継) 一
一六・二×八六・〇

Na56-36-3

〔備考〕 来春讓位・来冬即位時の上使について、破損あり、包紙あり

105 〔包紙〕(源林院様御書 撰津守様へ被達候辰ノ年午ノ年御留守中心得方等)

包紙 一
二四・七×一六・〇

Na56-36-4-0

106 〔包紙〕(書付)

包紙 一
二五・五×一九・二

Na56-36-4-1-0

107 覚(馬・鎗など稽古の指示)

〔年月日〕七月廿一日

一紙(二枚継) 一
一六・五×四二・五

Na56-36-4-1-1

〔作成〕周防守(高慶)
〔宛先〕撰津守(高通)殿

108 〔覚〕(鳥屋場の状況を江戸へ報告するようにとの指示書)

〔年月日〕七月十八日

一紙(三枚継) 一
一六・五×二一〇・五

Na56-36-4-1-2

〔作成〕周防守(高慶)
〔宛先〕撰津守(高通)殿

109 覚書(日頃の養生など高通へ対する教諭書付)

〔年月日〕七月五日

一紙(三枚継) 一
一六・五×一〇三・五

Na56-36-4-2

〔作成〕毛 周防守(高慶)
〔宛先〕毛利撰津守(高通)殿
〔備考〕「書付」(包紙上書)

110 覚(遊獵地廻りなど高通へ対する心得書)

一紙(二枚継) 一
一八・〇×四六・七

Na56-36-4-3

111 覚(留守中持病養生のことなど心得書)

〔年月日〕七月廿二日

一紙(二枚継) 一
一八・〇×七四・〇

Na56-36-4-4

〔作成〕周防守(高慶)
〔宛先〕撰津守(高通)殿

112 〔包紙〕(「源林院様御書 御留守中御鳥屋場心得書付」)

包紙 一
二七・〇×四〇・〇

Na56-36-5-0

113 覚(松次郎・源十郎取扱方及び城下出火時の心得方)

〔年月日〕(享保十七年)三月二日

一紙(二枚継) 一
一六・三×四五・〇

Na56-36-5-1

〔作成〕毛 周防守(高慶)
〔宛先〕毛利撰津守(高通)殿へ
〔備考〕「子三月二日御渡被成候御自筆之御書付」(包紙上書)

114 覚(大和守高能婚礼日取など通達)

〔年月日〕六月廿八日

一紙 一
一六・八×四〇・〇

Na56-36-5-2

〔作成〕周防守(高慶)
〔宛先〕寅太郎殿・内膳殿

115 覚(留守中雉子鳩遊獵の鳥屋場取極の通知)

〔年月日〕二月十六日

一紙(三枚継) 一
一六・六×一〇三・五

Na56-36-5-3

〔作成〕周防守(高慶)
〔宛先〕撰津守(高通)殿

116 追て(鳥屋場での鴨押打に付いての注意事項)

〔年月日〕二月十六日

一紙(二枚継) 一
一六・六×五三・二

Na56-36-5-4

〔作成〕周防守(高慶)
〔宛先〕撰津守(高通)殿

117 〔包紙〕(源林院様御書 撰津守様へ被進候年々御留守中御心方等)

包紙 一
二四・二×一六・四

Na56-36-6-0

118 〔覚〕(鳥屋場取くずしの件など)

〔年月日〕三月四日

一紙(三枚継) 一
一六・二×一〇五・〇

Na56-36-6-1

〔作成〕周防守(高慶)
〔宛先〕撰津守(高通)殿

119 覚(留守中百性共猪狩見物の心得など)

〔年月日〕三月四日

一紙(二枚継) 一
一六・〇×六六・五

Na56-36-6-2

〔作成〕周防守(高慶)
〔宛先〕撰津守(高通)殿

120 覚(留守中金兵衛用人共と話し方のこと、養賢寺参詣の心得方など)

〔年月日〕三月四日

一紙(二枚継) 一
一六・〇×四〇・八

Na56-36-6-3

〔作成〕周防守(高慶)
〔宛先〕撰津守(高通)殿

121 〔覚〕(江戸へ自筆状送達上の注意)

〔年月日〕四日

一紙(二枚継) 一
一六・〇×二二・〇

Na56-36-6-4

〔宛先〕撰津守殿へ

122 覚(留守中養生・獵・川漁及び内証の件など心得方)

一紙(三枚継) 一
一六・四×一〇三・五

Na56-36-6-5

123 〔源林院様御代御隣家大久保下野守(忠位)密之一件御在邑中御取替之御書状之覚書

〔年月日〕(享保十七年頃)

一紙(四枚継) 一
一七・〇×九九七・〇

Na56-36-7

〔備考〕「嘉永二(西十一月改)」とあり

124 〔包紙〕(源林院様より撰津守様へ佐賀閣より之御状一通)

包紙 一
二七・五×一〇三・五

Na56-37-4-0

125 〔毛利周防守高慶書状〕

〔年月日〕三月十二日

一紙(五枚継) 一
一六・七×一八九・〇

Na56-37-4-1

〔作成〕毛 周防守(高慶)
〔宛先〕毛利撰津守(高通)殿
〔備考〕参勤途中の滞船状況報告

126 覚(「武門之法」の心得書)

〔年月日〕三月廿一日

一紙(三枚継) 一
一七・〇×一〇四・五

Na56-37-4-2

〔作成〕(毛利高慶)
〔宛先〕仕置方用人共

127 〔源林院様御代御参勤御船中日和附〕

〔備考〕表題は包紙より、「但角石より夏井浦より鳩浦越室津迄御直書体三認有之候」とあり、三月五日、十六日迄の船中日記、破損大

一紙(三枚継) 一
一五・五×一四三・〇

Na56-37-5

128 [包紙] (文政八酉年九月廿七日公儀御差出候御書目写)
〔年月日〕 (文政八酉年九月廿七日)
包紙 一
二七・六×三九・四
Na56-37-6-0

129 公儀御用二付御差出御書目
〔年月日〕 九月十二日
一紙 (四枚継) 一
一五・〇×二二八・六
〔備考〕 明石大助・木許源太夫
〔備考〕 「通計三十七部、別二一帖内一部江戸表ニ有之候、東寛園一帖御蔵中ニ相見へ不申候残り三十六部差出候」とあり
Na56-37-6-1

130 [書目書付]
〔備考〕 通計二十七部一帖
一紙 (三枚継) 一
一五・七×一六六・二
Na56-37-6-2

131 [包紙] (源林院様御代公儀より御暇被仰出候二付御書付二通)
包紙 一
二四・二×一六・六
Na56-37-7-0

132 [人名書付]
〔年月日〕 (卯四月)
一紙 (二枚継) 一
一五・九×七四・八
〔備考〕 卯四月御暇時の上使人名書付
Na56-37-7-1

133 表方御絵様
〔年月日〕 万治二丁亥歳
一紙 (三枚継) 一
一六・二×九八・〇
〔備考〕 人員配置の書付
Na56-37-7-2

140 [撰津守様へ被進候公儀御法事二付て之御能有之其節より紅葉之間にて御料理御頂戴御書附]
〔年月日〕 二月二日
一紙 (六枚継) 一
一六・四×三三・九
〔作成〕 周防守 (高慶)
〔宛先〕 撰津守 (高慶) 殿
〔備考〕 表題は包紙より、「嘉永二酉歳十月改」 (上書) とあり
Na56-37-12

141 [戸塚元啓承合御懐紙認様文字くばり言枚]
〔作成〕 井上寿仙拝搦
一紙 一
三三・五×四五・五
〔備考〕 表題は包紙より、「庭上は松のミ事をはん」云々
Na56-37-13

142 [源林院様御書御印判]
印判 一
一七・八×四・二
〔備考〕 「高慶裏印も押有之、大切ニ可致者也」 (上書)、「嘉永式酉年十一月改」 (上書) とあり
Na56-37-14

143 [包紙] (源林院様御書 水谷出羽守殿へ堺にて鉄炮詠之品ニより御届等之訳等)
包紙 一
二四・五×一六・六
〔備考〕 「嘉永二酉十一月改」 (上書)
Na56-37-15-0

144 [加納遠江守殿へ被進候物之御書付]
〔年月日〕 四月廿三日
一紙 一
一六・二×三五・五
〔備考〕 加納遠江守久通への動向と進物のリスト
Na56-37-15-1

145 覚 (堺での鉄炮届出のことなど)
一紙 (二枚継) 一
一六・二×七〇・三
〔備考〕 四月二十三日能登守登城前に堺町奉行水谷出羽守 (勝比カ) より問合せたもの
Na56-37-15-2

134 [公儀にて月光院様之女中格式書付]
一紙 一
一六・二×一八・〇
Na56-37-8

135 [御前御誕生之年号月日ひよみ等之御書付]
〔年月日〕 (延宝三乙卯年四月二日)
一紙 一
一六・二×一八・〇
〔備考〕 表題は包紙より
Na56-37-9

136 [虫付拝借に付返書]
〔年月日〕 (享保十七年) 九月廿九日
一紙 一
一六・八×四七・八
〔作成〕 有馬出羽守 (純珍)
〔宛先〕 毛利周防守 (高慶) 様
〔備考〕 「有馬出羽守様へ昨廿八日作毛虫付二付御拝借被仰付候御挨拶之儀二付御心安御老中様方へ御勤之節御聞合有之候御返事」 (包紙上書)
Na56-37-10

137 [包紙] (尾之上尾茶屋平地坪数虫附二通)
包紙 一
二四・四×一六・五
〔備考〕 「上包ニ毛利九郎左衛門屋敷跡絵図と有之未詳相考」 (上書)、「嘉永二酉十一月改」 (上書)
Na56-37-11-0

138 尾野上尾茶屋之尾崎平地絵図
絵図 一
一七・六×四・九
〔備考〕 墨書
Na56-37-11-1

139 [尾ノ上尾茶屋之尾崎平地間数坪数書付]
〔年月日〕 二月九日
一紙 一
一八・八×五・四
〔備考〕 坪数書付
Na56-37-11-2

146 [包紙] (源林院様御書 結納之書付)
包紙 一
二四・六×一六・五
〔備考〕 「此書付源十郎方へも写遣可被新候と有之候」 (上書)、「嘉永二酉十一月改」 (上書)
Na56-37-16-0

147 七月六日結納之節祝義物并附使者来覚
一紙 (一枚継) 一
一六・二×一八・〇
Na56-37-16-1

148 [覚] (七月六日来客申入の内断った人の名前書付)
一紙 一
一六・二×一八・〇
Na56-37-16-2

149 七月七日結納祝義之品
一紙 (三枚継) 一
一六・二×一八・〇
Na56-37-16-3

150 口上覚 (毛利駿河守高久危篤に付在所暇願書)
〔年月日〕 (享保元年)
一紙 一
一八・二×一六・〇
〔備考〕 「御扣 上美濃紙上下打懸ケ下二御名計」 (端裏)、「包紙あり」
Na56-37-17

151 覚 (鬼子母神・七面・妙喜・八幡明神右之品々今年腹中御参詣有無之御書付)
一紙 一
一七・八×四〇・〇
〔備考〕 源林院様御書、包紙あり
Na56-37-18

152 〔殿様御婚礼之節宗対馬守様より来候御親類書写〕
〔年月日〕(享保十一年六月廿一日御渡被成候付写之)
横帳(二丁) 一
一四・五×四三・六

No.56-37-19

153 〔包紙〕(久留嶋様より源林院様へ被進候御書・金高書積前書附等)
包紙 一
二四・〇×二六・二

No.56-37-20-0

154 〔久留嶋信濃守光通書状〕
〔年月日〕九月七日
〔作成〕久留嶋信濃守光通(花押)
〔宛先〕毛利周防守(高慶)様参入々御中
〔備考〕領分山論に付代官小泉市大夫横分の件などを通知

折紙 一
三四・一×四八・三

No.56-37-20-1

155 〔金高前積前書附〕
〔備考〕前欠

一紙(断簡) 一
一八・〇×二〇・九

No.56-37-20-2

156 心得覚
〔年月日〕六月廿日
〔作成〕(毛利高慶)

横帳(四丁) 一
一七・〇×四七・七

No.56-37-20-3

157 〔公儀より子年西国筋田畑虫附二付長崎へ御高札之写 御書付〕
〔年月日〕子十一月
一紙(三枚継) 一
一五・八×二二・四・六

No.56-37-21

〔備考〕表題は包紙より、「嘉永二酉十一月改」(上書)、破損あり

158 〔寛龍院様御印章写〕
一紙 一
一三・四×一・五

No.56-37-22

159 覚(毛利駿河守高久居宅取崩・森伊織婚礼・久留嶋伊予守紀州家伺公の件)
〔年月日〕六月八日
〔作成〕斎藤勘左衛門
〔宛先〕堀 藤助様
〔備考〕源林院様御代戸田山城守殿へ内伺斎藤勘左衛門より差出、尤堀藤助方迄(包紙上書)、「嘉永二酉十一月改」(包紙上書)

一紙(六枚継) 一
一八・二×三三・四・五

No.56-37-23

160 〔源林院様 御心得御書〕
〔備考〕葡萄酒製法など、包紙あり

横帳(十丁) 一
一七・五×三三・七

No.56-37-24

161 〔秋月佐渡守種実書状〕
〔年月日〕(宝暦元年)七月五日
〔作成〕秋 佐渡守種実(花押)
〔宛先〕毛 周防守(高慶)様
〔備考〕吉宗薨御に付慎目数の問い合わせ、二重包紙

一紙(一枚継) 一
一六・四×九一・五

No.56-34-8

六 毛利高謙外藩主関連文書

1 〔袋〕(高謙公御官物請取書入等)
〔備考〕外に「金毘羅御寄進石灯笼書付」など上書あり

袋 一
四〇・〇×一・七

No.56-13-0

2 〔包紙〕(讃州金毘羅御寄進石灯笼書付入等)
包紙 三
二七・五×四〇・〇

No.56-13-1-0

〔備考〕包紙三通一括

3 塚田より差越庚今度帰帆二先申遣候十八部書付
一紙(三枚継) 一
一六・〇×八六・〇

No.56-13-1-2

4 〔石灯笼図面〕
図面 一
二二七・〇×七八・五

No.56-13-1-3-1

5 石灯笼之事
〔年月日〕六月十一日
〔作成〕関谷善左衛門(印)
〔宛先〕御小納戸中
〔備考〕石灯笼台座昨日林兵衛舟にて出帆のこと

一紙(五枚継) 一
一四・二×一六七・五

No.56-13-1-3-2

6 覚(石灯笼成就に付金光院へ挨拶の件など)
〔年月日〕六月廿七日
〔作成〕関谷善左衛門(印)
〔宛先〕御小納戸中
〔備考〕表題の外、尊勝院よりの船中御守、上々様方御息災・御延命の御守差上の旨など

一紙(一枚継) 一
一四・〇×六三・六

No.56-13-1-3-3

7 〔関谷善左衛門書状〕
〔年月日〕六月廿七日
〔作成〕関谷善左衛門(印)
〔宛先〕御小納戸中
〔備考〕大権現へ本開帳御代参勤仕の旨など

一紙 一
一四・〇×七一・三

No.56-13-1-3-4

8 〔石灯笼文様図面〕
図面 一
一八・五×一・五

No.56-13-1-3-5

〔備考〕二枚を同折

9 〔石灯笼建場所図面〕
図面 一
四四・〇×一・五

No.56-13-1-3-6

10 〔関谷善左衛門書状〕
〔年月日〕六月十一日
〔作成〕関谷善左衛門(印)
〔宛先〕御小納戸中
〔備考〕石灯笼を建設し早々に帰郷したき旨など

一紙(一枚継) 一
一四・五×七・五

No.56-13-1-3-7

11 覚(唐草すかし細工作法の通りの事)
〔年月日〕未五月十五日
〔作成〕鏑屋次郎兵衛
〔宛先〕御役所様

一紙 一
一五・〇×三九・五

No.56-13-1-3-8

12 〔石灯笼立方図〕
図面 一
四一・八×一・八・五

No.56-13-1-3-9

13 覚(御灯笼石数并重目書上)
〔年月日〕六月廿七日
〔作成〕関谷善左衛門
〔宛先〕御小納戸中

一紙(三枚継) 一
一四・〇×七三・五

No.56-13-1-3-10

14 [石灯笼図柄]

図面 二
四〇・七×四二・〇

No.56-13-1-3-11

15 覚 (訓行録三冊ほか書目書上)

一紙 (二枚継) 一
一四・〇×二二・二
〔作成〕 林伊兵衛
〔宛先〕 関谷善左衛門様

No.56-13-1-3-12

16 覚 (御目録被下置候書付)

一紙 (二枚継) 一
一四・〇×二七・一
〔年月日〕 六月廿七日
〔作成〕 関谷善左衛門 (印)
〔宛先〕 御小納戸中
〔備考〕 作事方役人・真光院・尊勝院・片岡多仲太等へ金子書上

No.56-13-1-3-13

17 覚 (尊勝院懸合等之事)

一紙 (一〇枚継) 一
一四・〇×二九八・五
〔年月日〕 六月廿七日
〔作成〕 関谷善左衛門 (印)
〔宛先〕 御小納戸中
〔備考〕 石灯笼建立に付、前より有来の灯笼を取り除く際の交渉について

No.56-13-1-3-14

18 [荒川父之丞書状]

一紙 (二枚継) 一
一六・三×三七・〇
〔年月日〕 四月廿一日
〔作成〕 荒川父之丞宣重押
〔備考〕 御懇の改命謹んでお請のこと

No.56-13-1-3-15

19 [包紙] (毛利美濃守様分御勘定書・安政二卯年二月高謙公御物金請取書入)

包紙 二
三七・五×二七・五
〔備考〕 二重包紙

No.56-13-5-0

20 毛利美濃守様從五位下諸大夫成御官物銀之注文

一紙
三三・五×四八・一
〔年月日〕 安政二年卯二月
〔作成〕 御官物御用掛屋平野屋次兵衛 (印)
〔宛先〕 宮原拱津守様御内飯田怡殿・鈴木貞殿
〔備考〕 從五位下諸大夫成御官物銀請取のこと

No.56-13-5-1

21 毛利美濃守殿源高謙從五位下諸大夫成御官物之事

一紙 (五枚継) 一
二九・七×四二・五
〔年月日〕 安政二卯年二月
〔作成〕 東坊城兵衛 (印) 井上様 桑大納殿 (印) 御内飯田守 桑内守
〔宛先〕 飯田怡殿・鈴木貞殿
〔備考〕 從五位下諸大夫成御官物請取差上、銘々へ渡す旨

No.56-13-5-2

22 [包紙] (御直書御書付類入)

包紙 一
二九・七×四二・五
〔備考〕 紐あり

No.56-37-0

23 [菅原姓前田氏・源姓嶋津氏・藤原姓伊達氏の領主名・石高書付]

一紙
三三・五×四五・四
〔備考〕 紐あり

No.56-37-1

24 [包紙] (南様へ喜連川御隠居様より之御書)

包紙 一
二四・五×一六・八
〔備考〕 紐あり

No.56-37-2-0

25 [喜連川憩山惠書状]

一紙 (二枚継) 一
一六・六×四七・四
〔年月日〕 十月初日
〔作成〕 喜連川憩山惠 (花押)
〔宛先〕 毛利出雲守 (高翰) 殿御報
〔備考〕 近況報告

No.56-37-2-1

26 別紙 (嫡孫病死のお悔やみ)

一紙 (二枚継) 一
一六・五×一八・七

No.56-37-2-2

32 覚 (彦嶽迄の道法大概書)

一紙 (四枚継) 一
一〇・五×一四・〇
〔年月日〕 閏七月十五日
〔作成〕 関左内組徳丸源右衛門・長谷川園右衛門組小野四九右衛門

No.56-37-25-4

27 [宗源知院様御割腹之御兄弟之御書付]

一紙 一
一八・〇×二五・六

No.56-37-3

33 覚 (彦嶽御出に關する人夫積書)

一紙 (二枚継) 一
一三・六×五四・五
〔年月日〕 卯九月初日
〔作成〕 徳丸源右衛門
〔備考〕 戸穴村大庄屋・小庄屋・地目付立会にて改める

No.56-37-25-5

28 [包紙] (御書一通有之彦嶽御出二付諸書付)

包紙 一
二四・五×一六・二

No.56-37-25-0

34 [彦嶽御出の必要物品書付]

一紙 (三枚継) 一
一四・〇×四九・五
〔備考〕 破損甚大

No.56-37-25-6

29 [御船之事など九ヶ条書付]

一紙 (二枚継) 一
一三・五×二四・〇

No.56-37-25-1

35 覚 (殿様有卦二御入被遊候節明神へ御備之書付)

一紙 (二枚継) 一
一四・五×一六・五
〔備考〕 包紙あり、破損甚大

No.56-37-26

30 [御船之事など十三ヶ条書付]

一紙 一
一三・四×二八・二

No.56-37-25-2

36 [包紙] (長州征伐に關する書付二通の包紙)

包紙 一
一三・五×四九・二
〔年月日〕 (慶応元年十月十九日)

No.56-34-4-0

31 彦嶽登供

一紙 一
一九・二×二六・七
〔備考〕 御供人名の書付、付紙あり

No.56-37-25-3

37 [被仰上之書付写]

一紙 (三枚継) 一
一九・七×一五・八
〔年月日〕 九月
〔作成〕 御諱
〔備考〕 防長処置の件に付奏聞

No.56-34-4-1

38 [勅答写]

〔年月日〕九月

一紙
一九・七×五四・八

No.56-34-4-2

39 覚(城下出火時の心得)

〔備考〕「長州一挙相済候者御用之儀有之候間早速上京之事」とあり

〔年月日〕嘉永六癸丑年六月

一紙(二枚継)
一八・〇×六九・二

No.56-34-1

40 [去冬出生の男子熊松を嫡子とする届]

〔備考〕「御城下方」出火之節心得之御書付拙者共一同へ被成下候 嘉永六癸丑年六月十四日〔包紙上書〕

〔年月日〕正月十九日

一紙
一六・三×二七・二

No.56-34-2

41 [包紙] (常憲院様より護持院へ被下候御文章写)

包紙
三四・五×二四・五

No.56-34-3-0

42 [寺号沙汰写]

〔年月日〕元禄元年九月十八日

〔作成〕内大臣綱吉御判

〔宛先〕護持院大僧正へ

〔備考〕知足院事祈願所たるにより院家の寺号を護持院と沙汰のこと

一紙
三三・三×四四・五

No.56-34-3-1

43 [記] (筑波山元禄寺護持院)

一紙
二二・〇×一六・五

No.56-34-3-2

44 [記] (御先代様御直書類と墨書)

一紙
二二・五×五・五

No.56-34-9

45 拵目録

〔備考〕御刀拵目録、御刀の仕様書、包紙あり

〔年月日〕丑八月廿四日

〔作成〕児玉□(虫喰) 助

〔備考〕「小嶋屋助右衛門熊村屋七郎兵衛人札内誤差引書付」(端裏書)

46 小嶋屋助右衛門熊村屋七郎兵衛仕様帳代銀差引之分ケ

〔年月日〕亥十二月十六日

〔作成〕小林九左衛門

〔備考〕「目録迄通 小林九左衛門」(包紙上書)とあり、包紙あり

一紙(四枚継)
二八・〇×六・〇

No.56-35-1-3

47 覚(新金払方合千二百三十六両余の費目書上)

一紙
二七・〇×四〇・〇

No.56-35-1-4

48 拵目録

包紙
四一・〇×一六・五

No.56-35-1-5-0

49 [包紙] (八月廿五日為指登候源十郎殿御脇指注文扣)

〔備考〕「御小脇指拵目録」(包紙上書)、包紙あり

〔年月日〕八月廿五日

〔作成〕齊藤勘助・鷲塚市左衛門・中村彦左衛門

〔宛先〕関谷与次兵衛殿

〔備考〕新規の附金は送金の金子にて申付のこと

一紙(二枚継)
二七・五×七七・〇

No.56-35-1-5-1

50 脇指拵注文

一紙
二七・五×二〇・〇

No.56-35-1-5-2

51 小尻之形

〔備考〕脇指の柄部分の形状を図示

一紙
一四・〇×二〇・〇

No.56-35-4

52 [覚] (伊東修理亮ら勅使拝命の件)

〔年月日〕三月十一日

一紙
一六・〇×二七・〇

No.56-35-5

53 [覚] (書院にて本使・副使御目見の件)

横帳(二丁)
一六・四×四〇・八

No.56-35-6

54 [覚] (寅ノ年始に付御太刀馬代など献上書付)

〔年月日〕辰四月十三日

〔作成〕山中佐次右衛門・羽野沢右衛門(印)

〔宛先〕岩本平左衛門殿

〔備考〕御番所御勤、公家衆御馳走等に備え新調・修復の道具類書上

横帳(四丁)
一四・六×四四・三

No.56-35-10

55 御修復御道具覚

〔備考〕展開不能、表題は包紙より

〔年月日〕嘉永二酉十月改

〔作成〕源林院(高慶)

〔宛先〕蘭陵院(高丘)

〔備考〕展開不能、表題は包紙より

〔備考〕「御先代様方御書」

〔年月日〕嘉永二酉十月改

〔作成〕源林院(高慶)

〔宛先〕蘭陵院(高丘)

〔備考〕展開不能、表題は包紙より

〔備考〕「御先代様方御書拾八封入」(箱書)

〔年月日〕嘉永二酉十月改

〔作成〕蘭陵院(高丘)

〔宛先〕源林院(高慶)

〔備考〕展開不能、表題は包紙より

〔備考〕「御先代様方御書拾八封入」(箱書)

〔年月日〕嘉永二酉十月改

〔作成〕蘭陵院(高丘)

〔宛先〕源林院(高慶)

〔備考〕展開不能、表題は包紙より

〔備考〕「御先代様方御書」

〔年月日〕嘉永二酉十月改

〔作成〕蘭陵院(高丘)

〔宛先〕源林院(高慶)

〔備考〕展開不能、表題は包紙より

〔備考〕「御先代様方御書」

〔年月日〕嘉永二酉十月改

〔作成〕蘭陵院(高丘)

〔宛先〕源林院(高慶)

〔備考〕展開不能、表題は包紙より

〔備考〕「御先代様方御書」

〔年月日〕嘉永二酉十月改

〔作成〕蘭陵院(高丘)

〔宛先〕源林院(高慶)

〔備考〕展開不能、表題は包紙より

〔備考〕「御先代様方御書」

〔年月日〕嘉永二酉十月改

〔作成〕蘭陵院(高丘)

〔宛先〕源林院(高慶)

〔備考〕展開不能、表題は包紙より

〔備考〕「御先代様方御書」

〔年月日〕嘉永二酉十月改

〔作成〕蘭陵院(高丘)

〔宛先〕源林院(高慶)

〔備考〕展開不能、表題は包紙より

〔備考〕「御先代様方御書」

〔年月日〕嘉永二酉十月改

〔作成〕蘭陵院(高丘)

〔宛先〕源林院(高慶)

〔備考〕展開不能、表題は包紙より

〔備考〕「御先代様方御書」

〔年月日〕嘉永二酉十月改

〔作成〕蘭陵院(高丘)

〔宛先〕源林院(高慶)

〔備考〕展開不能、表題は包紙より

〔備考〕「御先代様方御書」

〔年月日〕嘉永二酉十月改

〔作成〕蘭陵院(高丘)

〔宛先〕源林院(高慶)

〔備考〕展開不能、表題は包紙より

〔備考〕「御先代様方御書」

〔年月日〕嘉永二酉十月改

6 [源林院様より蘭院院様被進御書]

〔作成〕源林院(高慶)
〔宛先〕蘭院院(高丘)
〔備考〕展開不能、表題は包紙より

一括
二〇・〇×八・五

No.56-40-5

7 [源林院様御書 東海道本坂に付きての御触書]

〔年月日〕享保二十一年辰年
〔備考〕展開不能、表題は包紙より

一括(二通)
一六・七×四・三

No.56-40-6

8 [源林院様より蘭院院様へ被進候御書 嘉永二酉歳十月改]

〔年月日〕嘉永二酉歳十月改
〔作成〕源林院(高慶)
〔宛先〕蘭院院(高丘)
〔備考〕展開不能、表題は包紙より

一括
一七・〇×八・〇

No.56-40-7

9 [木箱]

〔備考〕「御書上御扣共四通入」(箱書)

木箱
三二・六×七・五×三・五

No.56-40-8-0

10 [亜墨利加国取扱に関する意見書]

〔年月日〕(安政五年)五月九日
〔作成〕毛利安房守(高泰)
〔備考〕「堀田備中守様御持参御差出」(包紙上書)

一紙
一九・三×三・五・〇

No.56-40-8-1

11 [亜墨利加条約取替に関する意見書草稿]

〔年月日〕五月
〔作成〕毛利安房守(高泰)
〔備考〕「御書付」(包紙上書)

一紙
一六・一×三・六・〇

No.56-40-8-2

12 [亜墨利加国書簡拝読の上海岸防禦の請書]

〔年月日〕(嘉永六年)九月三日
〔作成〕毛利安房守(高泰)
〔備考〕「嘉永六己年九月四日阿部伊勢守様以御答御座候 公用人渡辺総兵衛」(包紙上書)

一紙
九・六×三・〇

No.56-40-8-3-1

13 [墨夷渡来とその取扱に関する意見書写]

〔作成〕分部若狭守
〔備考〕展開不能、表題は包紙より

一紙
一六・四×三・五・五

No.56-40-8-3-2

14 [大船御製造之儀二付御書上御扣御直書]

〔年月日〕五月
〔作成〕毛利安房守(高泰)
〔備考〕表題は包紙より、大船建造は組合にても不可能など

一紙
一七・八×三・八・〇

No.56-40-8-4

15 [御不用之分]

〔備考〕展開不能、表題は包紙より

一括
一〇・五×六・〇

No.56-40-8-5

16 [御先代様方御書]

〔備考〕展開不能、表題は包紙より

一括(五通)
一五・〇×六・〇

No.56-40-9

17 [源林院様御事高定公御宣旨写 大切可致申者也]

〔年月日〕(元禄二年十二月二十七日)
〔備考〕元禄二年十二月二十七日宣旨写、表題は包紙より

一紙
一五・〇×四九・五

No.56-40-10

18 [元禄十二年卯年閏九月十一日大目付溝口修理殿へ差出之 毛利周防守]

〔年月日〕元禄十二年卯年閏九月十一日
〔作成〕毛利周防守(高慶)
〔宛先〕溝口修理
〔備考〕展開不能、表題は包紙より

一括(六通)
一八・五×五・〇

No.56-40-11

19 [御武具奉行御書物奉行共候被仰出御書]

〔年月日〕丑六月
〔備考〕展開不能、表題は包紙より

一括
二八・〇×五・八

No.56-40-12

20 [御先代様方御書]

〔備考〕展開不能、表題は包紙より

一括(五通)
一七・五×八・〇

No.56-40-13

21 [御書一通 寅太郎様・内膳様へ被進候]

〔宛先〕寅太郎(高丘)・内膳
〔備考〕展開不能、表題は包紙より

一括(二通)
二七・五×五・五

No.56-40-14

22 [寛洪院様より之御書 大殿様へ被進候 嘉永二酉歳十月改]

〔年月日〕嘉永二年十月改
〔作成〕寛洪院(高誠)
〔備考〕展開不能、表題は包紙より

一括(四通)
一九・八×六・五

No.56-40-15

23 [御先代様方御書]

〔備考〕展開不能、表題は包紙より

一括
一八・〇×四・五

No.56-40-16

12 [亜墨利加国書簡拝読の上海岸防禦の請書]

〔年月日〕(嘉永六年)九月三日
〔作成〕毛利安房守(高泰)
〔備考〕「嘉永六己年九月四日阿部伊勢守様以御答御座候 公用人渡辺総兵衛」(包紙上書)

一紙
九・六×三・〇

No.56-40-8-3-1

13 [墨夷渡来とその取扱に関する意見書写]

〔作成〕分部若狭守
〔備考〕展開不能、表題は包紙より

一紙
一六・四×三・五・五

No.56-40-8-3-2

14 [大船御製造之儀二付御書上御扣御直書]

〔年月日〕五月
〔作成〕毛利安房守(高泰)
〔備考〕表題は包紙より、大船建造は組合にても不可能など

一紙
一七・八×三・八・〇

No.56-40-8-4

15 [御不用之分]

〔備考〕展開不能、表題は包紙より

一括
一〇・五×六・〇

No.56-40-8-5

16 [御先代様方御書]

〔備考〕展開不能、表題は包紙より

一括(五通)
一五・〇×六・〇

No.56-40-9

17 [源林院様御事高定公御宣旨写 大切可致申者也]

〔年月日〕(元禄二年十二月二十七日)
〔備考〕元禄二年十二月二十七日宣旨写、表題は包紙より

一紙
一五・〇×四九・五

No.56-40-10

24 [寛洪院様御直書]

〔作成〕寛洪院(高誠)
〔備考〕展開不能、表題は包紙より

一括
一〇・〇×五・〇

No.56-40-17

25 [書状]

〔備考〕展開不能

一括(二通)
一六・五×五・〇

No.56-40-18

26 [御朱印長持入組]

〔備考〕展開不能

一括(二通)
一五・〇×五・〇

No.56-40-19

27 [辰十二月二十九日御先祖様御祭之節書付]

〔年月日〕辰十二月二十九日
〔備考〕展開不能、表題は包紙より

一括(二通)
二七・〇×四・八

No.56-40-20

28 [殿様御家督より享保十九寅年迄年数三十六年之間御行列御手伝方為火消公家衆御馳走御門番御被遊候度御書付]

〔年月日〕享保十九寅年御改
〔備考〕展開不能、表題は包紙より

一括(二通)
一六・五×五・五

No.56-40-21

29 [此書付途中迄江戸より差越付慰二遣候金兵衛用人共へも見世可申候]

〔備考〕展開不能、表題は包紙より

一括(三通)
一五・〇×四・五

No.56-40-22

30 [諸御書附入]

一括
一九・五×八・五

Na56-40-23

31 [嘉永二酉十月改之 源林院様より被仰出候御書付 虫入大切被可候]

[年月日] 嘉永二酉十月改之
[作成] 源林院(高慶)
一括(一通) 一
三四・五×五・〇

Na56-40-24

32 [殿様御年賀之節御屏風の歌写 享保九甲辰年正月十二日 但虫入]

[年月日] 享保九甲辰年正月十二日
一括(一通) 一
二五・〇×五・〇

Na56-40-25

33 [沼兵太夫御暇之書付]

[備考] 展開不能、表題は包紙より
一括(一通) 一
二七・五×五・〇

Na56-40-26

八 免許・伝書

1 [兵学関連巻物]

[備考] 「源林院様兵学之巻物故未詳候、巻物寸法寸八尺雛形人」(包紙上書、嘉永二酉十一月改、包紙あり)
一紙(四枚継) 一
二二・五×二五・〇
Na56-8-6

2 [断簡] (「忍之術被召抱候受書」とあり)

断簡
九・五×六・五

Na56-3-1

3 起請文之事

[年月日] 享保十年巳四月廿九日
[作成] 中辻儀右衛門信息(花押)
一紙(二枚継) 一
二七・五×七・〇

Na56-3-2

4 仕上証文

[年月日] 享保十年巳正月廿一日
[作成] 本人中辻儀右衛門(印)・請人堤忠左衛門(印)
[宛先] 毛利周防守御内閣十左衛門殿・永富勝右衛門殿
[備考] 忍術相伝者召抱に付起請文のこと、破損甚大
一紙 一
三〇・五×五八・五

Na56-3-3

5 入記(兵法書類書上)

[年月日] 明和二酉歳八月廿七日改
[作成] 小林典女・関谷藤藏・西名兵右衛門・長谷川関右衛門・中村志津摩(七・二×六四・〇)
[備考] 「入記 目録別二帳面二仕立御筆筒二有之候」(包紙上書)
一紙(二枚継) 一
Na56-13-4

6 津田流砲術

[年月日] 嘉永七
[作成] 長谷川右門
[備考] 初段、五段各一卷、目録一卷、箱入
卷子 六
八・二×五〇・〇
Na56-23

7 津田流御皆伝之節御銜物

[備考] 虫喰あり
一紙 一
六・五×...
Na56-24

8 裏星板并挟台之図

一紙 一
二八・〇×四〇・七
Na56-25

九 絵図

1 [包紙] (大明神若宮八幡拝殿絵図外絵図一枚有之)

包紙 一
...
Na56-6-0

9 津田流砲術五段迄之口伝扣書留

[年月日] 嘉永七年三月三日
[作成] 長谷川右門
一紙(二枚継) 一
一九・三×一〇〇・五
Na56-26

10 嘉永七甲寅年二月三日津田流砲術長谷川右門より先代二対し惣皆伝二付銜物右之通

[年月日] 寅(嘉永七年)二月廿四日
一紙 一
一六・三×三六・六
Na56-27

2 大明神拝殿絵図

図面 一
二九・六×四四・七
Na56-6-1

11 秘密之秘

[備考] 虫喰
一紙 一
二五・〇×二二・六
Na56-28

3 [図面]

図面 一
三七・五×五一・七
Na56-6-2

12 三神流我等伝系之巻

[年月日] (天保十五辰年二月十八日)
一紙 一
一七・七×四六・〇
Na56-34-5

4 若宮八幡宮拝殿絵図

図面 一
二九・七×四四・〇
Na56-6-3

5 [佐伯城破損箇所図]

[備考] 虫喰あり
[年月日] 明和七庚寅年三月
[作成] 毛利彦三郎阿判
絵図 一
八・〇×八・〇
Na56-12

6 [包紙] (豊後佐伯御居城御修補伺書御奉書写・御修補絵図附添伺書附之覚)

包紙
二四・五×一六・二

Na56-20-1-0

7 御奉書請案文

[年月日] (文化元年)

一紙
一五・七×二三・七

Na56-20-1-1

[備考] 佐伯城修補許可の奉書請状の案文

8 口上之覚 (下絵図添状案文)

[年月日] (文化元年)

一紙
一六・〇×二〇・二

Na56-20-1-2

[備考] 佐伯城修補願のため提出の下絵図添書案文

9 [包紙] (文化元年甲子八月廿五日御本城御破損之節公辺へ御届御願方等)

[年月日] (文化元年八月廿五日)

包紙
二五・五×二一・〇

Na56-20-2-0

10 御山城御破損之節公儀へ御届御願方古御例申越候様被仰出候付則古御例吟味之上申越候扣

[年月日] 文化元年甲子年八月

堅帳 (五丁)
二八・五×二〇・二

Na56-20-2-1

[備考] 御城修復の古例書上、宝永六年五月・享保六年八月・延享二年七月の修復古例

11 [包紙] (御破損書付)

包紙
一八・二×七・五

Na56-20-2-2-0

12 [破損箇所書上]

[年月日] 正月

一紙 (四枚継)
一六・二×一四・五

Na56-20-2-2-1

[備考] 旧隴差下の破損箇所書上に相違あるに付伺、付箋あり

13 寅十一月五日同七日兩度大地震之節兩町破損所寄目録

[年月日] 卯二月

一紙 (二枚継)
一四・三×五四・五

Na56-20-2-2-2

[備考] 内町船頭町の潰居家軒数等書上

14 [破損箇所書上]

一紙 (六枚継)
一四・〇×一四四・二

Na56-20-2-2-3

[備考] 大地震に付領内破損箇所書上、付箋あり

15 [豊後国佐伯城絵図]

[年月日] 安政乙卯年七月

絵図
(計測不能)

Na56-33

[備考] 毛利安房守 (高泰) 両判
[備考] 「豊後国佐伯城破損之覚」とあり、安政元年十一月四日、七日の地震による破損箇所の書上、水損甚大に付展開不能

16 [川御座絵図]

絵図
一八・〇×一五・二

Na56-35-12

[備考] 彩色

十 文芸・その他

1 八景和歌

[作成] 中院通茂

卷子
二五・八×二七・〇

Na56-22

2 [和歌]

[備考] 絹本・金泥、「山市晴風」他、箱入

一紙
三三・三×一八・二

Na56-34-3-2

3 東照宮御神詠

[備考] 和歌一首

一紙
三三・五×四五・五

Na56-34-10

4 八景狂詩

[備考] 「東照宮様御歌 細川三京 中務卿歌書付入」 (包紙上書)、包紙あり

一紙 (三枚継)
一五・八×八三・〇

Na56-35-9

5 [漢詩文]

[備考] 少将夜首など

一紙
三〇・〇×一三三・〇

Na56-35-11

[備考] 虫損大

6 [咒文書付]

一紙
一六・二×一三・〇

Na56-35-3

[備考] 呪文書付三通を一括、包紙あり

7 七星劔先

折本 (九折)
一七・〇×九・〇

Na56-35-7

8 [手纏之図]

図面
二八・二×三九・〇

Na56-35-8

[備考] 表題の他、「餓神方」、「ふさかり方」等の記載あり

9 [記] (木の植様の図)

一紙
一九・〇×四〇・〇

Na56-35-2

10 [時計]

時計
一三・八×四・八

Na56-35-16

近代文書

一 記録・写本

1 旧記目録

〔年月日〕(明治期)

書冊(六十丁) 一
二六・三×一八・〇

Na56-5

〔備考〕毛利家所蔵旧記類の目録

2 [木箱]

木箱 一
三三・六×二五・七×
一三・五

Na56-21-0

〔備考〕五六―二一を納めた木箱、蓋に各々の表題を記す

3 旧藩制取調項目

〔年月日〕(明治期)

縦帳(八十九丁) 一
二三・五×一六・〇

Na56-21-1

〔備考〕山林業・佐伯藩財政ヲ処理スル方法など

4 [毛利家譜]

〔年月日〕明治四十一年四月

〔作成〕旧佐伯藩臣秋月新再拜薫沐謹書

縦帳(三十六丁) 一
二七・〇×一八・八

Na56-21-2

〔備考〕高次から高範公まで

5 [帙]

帙 一
〇・〇×一・五×四・〇

Na56-21-3-0

6 御山城之図

〔作成〕大分県南海部郡鶴岡村図師高浦善太郎(印)

絵図
七七・六×六・六

Na56-21-3-1

〔備考〕墨書

7 御三之丸之図

〔作成〕大分県南海部郡鶴岡村図師高浦善太郎(印)

絵図
九〇・八×一〇八・五

Na56-21-3-2

〔備考〕「三御九五歩老間之図 文久元酉年二月」など書込あり

8 江戸御上屋敷之図

〔作成〕大分県南海部郡鶴岡村図師高浦善太郎(印)

絵図
一五六・七×一六四・三

Na56-21-3-3

〔備考〕彩色、嘉永三年二月五日類焼、同五年四月普請成就時の絵図の写

9 天祐館之図

〔作成〕大分県南海部郡鶴岡村図師高浦善太郎(印)

絵図
七九・六×一〇九・六

Na56-21-3-4

〔備考〕佐伯藩知事私邸天祐館(明治三年普請)の普請絵図面の写

10 大阪蔵屋敷之図

〔備考〕墨引、「大坂佐伯藩邸之図 元天満十丁日二有り維新后北区若松町下改ム」とあり

絵図
五三・〇×五九・三

Na56-21-3-5

11 龍鼎山養賢寺之図

〔作成〕大分県南海部郡鶴岡村図師高浦善太郎(印)

絵図
〇・三×五×一八・八

Na56-21-3-6

〔備考〕図面、石垣・水路は彩色、朱筆、本堂・通用門普請文政九年成就、書院長老居間等普請弘化二年十二月成就

12 養賢寺御廟所地図

折本 一
二七・六×一九・〇

Na56-21-3-7

〔備考〕絵図面三枚(内彩色一枚)

13 [帙]

帙 一
二七・七×一〇・五×五・七

Na56-21-4-0

14 毛利家御家禄米算出基因

縦帳(二丁) 一
二六・七×一九・四

Na56-21-4-1

〔備考〕「甲子ヨリ戊辰迄五ヶ年平均」

15 佐伯御物成郷帳・佐伯御預所郷帳 全

〔年月日〕(明治三年十二月)

縦帳(三百三十六丁) 一
二七・〇×一九・五

Na56-21-4-2

〔備考〕「巳年より丑年迄佐伯庄新田畑御物成郷帳」と「豊後国海部郡当午郷帳扣」を合冊

16 温故知新録抜萃

〔年月日〕明治廿六年七月

〔作成〕西名勝昌謹記(序文)

縦帳 三
二五・五×一八・五

Na56-21-5

〔備考〕映入、上・中・下の三冊より成る、丁数は上五十三丁・中百八十三丁・下百四十五丁

17 [包紙] (旧記より抜萃平山右文治執草)

包紙 一

Na56-38-0

6 御山城之図

〔作成〕大分県南海部郡鶴岡村図師高浦善太郎(印)

絵図
七七・六×六・六

Na56-21-3-1

〔備考〕墨書

7 御三之丸之図

〔作成〕大分県南海部郡鶴岡村図師高浦善太郎(印)

絵図
九〇・八×一〇八・五

Na56-21-3-2

〔備考〕「三御九五歩老間之図 文久元酉年二月」など書込あり

8 江戸御上屋敷之図

〔作成〕大分県南海部郡鶴岡村図師高浦善太郎(印)

絵図
一五六・七×一六四・三

Na56-21-3-3

〔備考〕彩色、嘉永三年二月五日類焼、同五年四月普請成就時の絵図の写

9 天祐館之図

〔作成〕大分県南海部郡鶴岡村図師高浦善太郎(印)

絵図
七九・六×一〇九・六

Na56-21-3-4

〔備考〕佐伯藩知事私邸天祐館(明治三年普請)の普請絵図面の写

10 大阪蔵屋敷之図

〔備考〕墨引、「大坂佐伯藩邸之図 元天満十丁日二有り維新后北区若松町下改ム」とあり

絵図
五三・〇×五九・三

Na56-21-3-5

11 龍鼎山養賢寺之図

〔作成〕大分県南海部郡鶴岡村図師高浦善太郎(印)

絵図
〇・三×五×一八・八

Na56-21-3-6

〔備考〕図面、石垣・水路は彩色、朱筆、本堂・通用門普請文政九年成就、書院長老居間等普請弘化二年十二月成就

18 御番頭日記無之分

紙(三枚継) 一
一六・五×五九・七

Na56-38-1-1

〔備考〕宝暦、天保年間の欠本リスト

19 日記出来分

紙(四枚継) 一
一六・四×一八四・六

Na56-38-1-2

〔備考〕第壹号、壹〇〇号まで日記のリスト

20 享保年中 無

紙 一
一六・四×三四・三

Na56-38-1-3

〔備考〕享保年間の日記欠本リスト

21 享保日記裏打出來分

紙(一枚継) 一
一六・五×二五・九

Na56-38-1-4

〔備考〕日記のリスト、朱書

22 關本之部

紙 一
一六・四×一七・七

Na56-38-1-5

〔備考〕文化十三年・天保元年・明治元年

23 御家老日記 欠缺

紙(七枚継) 一
一六・五×一六五・八

Na56-38-1-6

〔備考〕御家老日記欠本分のリスト

24 御家禄米算出基因

〔作成〕 (平山右文治)

罫紙縦帳(十丁) 二四・五×一六・二

No.56-38-2

25 〔毛利家臣略伝〕

〔作成〕 (平山右文治)

罫紙縦帳(百七十九) 二四・四×一六・一

No.56-38-3

26 〔御郡代町奉行日記抜萃〕

〔備考〕 毛利藩主・戸倉家など

〔作成〕 (平山右文治)

罫紙縦帳(百六十八) 二四・五×一六・一

No.56-38-4

27 〔日記抜萃〕

〔作成〕 (平山右文治)

罫紙縦帳(百七十三) 二四・三×一六・〇

No.56-38-5

〔備考〕 佐伯御山城普請について外

28 寛政七年より慶応四年迄新半紙漉立高下調

〔備考〕 佐伯御山城普請について外

罫紙縦帳(十六丁) 二四・九×一六・五

No.56-38-6

29 片岡正路ヨリ願 毛利神社二閼スル書類

〔年月日〕 明治三十六年十一月

罫紙縦帳(十丁) 二五・〇×一六・〇

No.56-38-7

30 御山方

罫紙縦帳(十丁) 二四・七×一六・五

No.56-38-8

31 温故知新録之続 御役々進退下書

〔備考〕 松苗植立・請山等に関するもの

罫紙縦帳(百十丁) 二五・〇×一六・七

No.56-38-9

32 林業・林産物・水産業等取調書

〔備考〕 〔南海部郡役所へ差出候書類扣 附水産局長・小林区所・税務所差出候書類未々 綴込候〕

罫紙縦帳(八十八丁) 二四・四×一五・九

No.56-38-10

33 毛利兵橋殿へ御一字・毛利四代実録考証論断・陰徳太平記六十六巻

〔備考〕 〔南海部郡役所へ差出候書類扣 附水産局長・小林区所・税務所差出候書類未々 綴込候〕

罫紙縦帳(百七十三) 二四・五×一六・五

No.56-38-11

34 〔林業兵制等調査に関する依頼書〕

〔年月日〕 明治三十五年七月廿五日

罫紙縦帳(九丁) 二四・七×一六・五

No.56-38-12

35 〔包紙〕 (諸書付 聴詔掛)

〔備考〕 南海部郡役所用箋にて

包紙 二七・〇×一八・九

No.56-39-1-0

二 禁錮騒動関連文書

1 〔犯科書付〕

〔年月日〕 (明治期)

罫紙縦帳(八丁) 二八・〇×二〇・〇

No.56-14

2 長崎・日田・小倉・鶴崎状案留

〔年月日〕 慶応三卯年より

罫紙縦帳(五十三丁) 二八・二×二二・〇

No.56-15

3 日田縣出張中日記

〔年月日〕 明治四辛未年三月

〔作成〕 佐久間大参事

〔備考〕 巡察使御本営行の三月十六日、三月二十一日迄の日記

罫紙縦帳(三十二丁) 二六・六×一九・六

No.56-16

4 日田縣出張中日記

〔年月日〕 明治四辛未年從三月至四月

〔作成〕 佐久間大参事

〔備考〕 巡察使御本営行の三月十六日、四月二日迄の日記

罫紙縦帳(四十丁) 二八・五×二二・〇

No.56-17

5 〔幽閉ノ面々へ連累糾問書扣〕

〔備考〕 表題は袋上書より、佐伯藩紙使用、袋入

罫紙縦帳(百六) 二八・一×二〇・二

No.56-18

6 〔幽閉連累糾問書〕

〔年月日〕 辛未(明治四年)五月廿日

〔作成〕 佐伯藩庁(印)

〔宛先〕 巡察使御滞在所

〔備考〕 表題は袋上書より、佐伯藩紙使用、連累糾問書六辛未月廿日長崎縣御出張巡察使御滞在所 彈掛へ差出置候於日田縣西海邊鎮台分營ヨリ御差下シ相成候(袋上書 展開不能)

罫紙縦帳(十丁) 二八・〇×二〇・〇

No.56-19

7 大分郡区風説 (伝聞之次第)

〔年月日〕 十一月十八日

〔備考〕 大分郡区における浪士の動向

罫紙縦帳(三丁) 二八・九×二〇・〇

No.56-39-1-1

8 〔包紙〕 (書翰ニ差添有之血盟書之写)

〔年月日〕 (明治三庚午)

〔備考〕 浪士より書翰ニ差添有之書付、尤写取本紙差越候(上書)

包紙 二八・一×二〇・八

No.56-39-1-2

9 〔布切〕

〔備考〕 白生地

布切 三六・七×八四・五

No.56-39-1-3

10 〔包紙〕 (浪士より差越候書簡・同血盟書・同照妖鏡写)

〔備考〕 白生地

包紙 二七・八×四〇・五

No.56-39-2

11 〔達〕 (巡察使四条陸軍少将日田県出張地より回章到来に付通知)

〔年月日〕 (明治四年) 辛未正月四日

〔作成〕 岡藩庁

〔宛先〕 白杉藩庁・佐伯藩庁

〔備考〕 筑前・筑後の巡察について

紙 二六・五×六八・一

No.56-39-3

12 [達] (関守人ら三名の護送命令)
[年月日] 四月廿五日
[作成] 巡察使糾弾懸
[宛先] 佐伯藩出張詰合中
一紙(二枚継) 一
一九・八×五五・〇
No.56-39-4

13 覚(金札五十両受取のこと)
[年月日] (明治四年) 辛未八月九日
[作成] 有浦勘兵衛・千原寿作
[宛先] 脇田万里殿
一紙 一
一六・五×三二・九
No.56-39-5

14 [三箇条御達二付御請書扣]
[年月日] (明治四年) 辛未三月
[作成] 佐伯藩
一紙(二枚継) 一
一八・一×六五・六
No.56-39-6

15 [達] (尾間捨藏護送命令)
[年月日] 四月廿五日
[備考] 旧習一掃・浮浪取締など三箇条の通達、表題は包紙上書より
一紙 一
一九・七×二五・五
No.56-39-7

16 [達] (田中静衛外八名の護送命令)
[年月日] 四月廿六日
[作成] 巡察使糾弾懸
[宛先] 佐伯藩出張詰合中
一紙(二枚継) 一
一九・三×四一・七
No.56-39-8

17 [包紙] (東京ヨリ掛合書付二通)
包紙 一
二七・六×三五・九
No.56-39-9-1-0

24 [草稿] (尾間捨藏邸宅地処分に関する草稿)
一紙 一
一六・四×三八・二
No.56-39-9-6

25 [届書] (尾間捨藏処分の件)
[年月日] 明治七年二月十一日
[作成] 第四大区二十六小区(破) 村西名勝昌
[宛先] 黒水大分県権参事殿
[備考] 破損
一紙(四枚継) 一
二七・五×四一・六
No.56-39-9-7

26 [届書] (尾間捨藏邸宅地処分の件)
[備考] 破損
一紙(四枚継) 一
二七・五×四一・六
No.56-39-9-8

27 [処断書]
[年月日] (明治四年) 辛未十二月
[作成] 日田県出張司法省(印)
[備考] 佐伯県士族尾間捨藏・古川静蔵・田中静衛・関守人・長谷川七十郎・阿南勇・高橋貢・谷川約・高橋熊太ら庶人下シ禁獄一年の処分、司法省箋
一紙(四枚継) 一
一五・三×二五二・〇
No.56-39-10

28 新聞誌
[備考] 四月三日より四月十六日まで九州各地での巡察使の動向報告
一紙(四枚継) 一
一五・三×二五二・〇
No.56-39-11

29 [存寄書]
[作成] 三池・佐伯・森など計十四藩
[宛先] 巡察使御中
[備考] 脱籍浮浪の士族取締方に付存寄の下書、破損あり
一紙(三枚継) 一
一七・七×一四八・六
No.56-39-12

18 [書付] (士族反乱に付て司法省権大録大脇氏よりの指示)
[備考] 破損あり
一紙(二枚継) 一
一九・九×七四・四
No.56-39-9-1-1

19 [禁獄者処分に付ての書付]
[備考] 破損あり
一紙 一
四・五×四一・〇
No.56-39-9-1-2

20 古賀直衛県庁へ出頭之節口達控
[備考] 付箋あり、破損
一紙(二枚継) 一
一六・四×五四・四
No.56-39-9-2

21 漸県庁へ出頭之節聴詔専務より相渡候書付
[備考] 禁獄者九名の名跡など三ヶ条
一紙 一
一六・五×……七
No.56-39-9-3

22 [届書] (尾間捨藏禁獄処分・城山元鉄砲場の件)
[年月日] 明治七年一月廿九日
[作成] 西名勝昌
一紙 一
二五・〇×……八・五
No.56-39-9-4

23 [届書] (尾間捨藏邸宅地引上・城山鉄砲場の場貸借の件)
[年月日] 明治七年一月廿九日
[作成] 四大区二十六小区西名勝昌
[宛先] 森下大分県権令殿
[備考] 明治七年二月三日の奥書(朱書)あり
一紙 一
二四・……×……五
No.56-39-9-5

30 [後藤勇外二名の名札]
[年月日] (十二月六日発)
[作成] (西山慎介・義守進)
[宛先] (佐伯藩参事申様)
[備考] 年月日・作成などは包紙上書より
名札 一
一六・……×……〇
No.56-39-13

31 [浪士より差越書状]
[年月日] 十二月六日
[作成] 諸藩有志中
[宛先] 佐伯藩政府各申様
[備考] 禁獄処分者釈放を求める書簡、「十二月十四日里正より差出候」とあり、包紙あり
一紙(四枚継) 一
一八・……×……七五・七
No.56-39-14

32 [書付] (蒸気船一艘入津・日田騒擾の件)
一紙(二枚継) 一
一七・五×四六・六
No.56-39-15

33 [達] (谷川・阿南両名の護送命令)
[年月日] 四月廿五日
[作成] 巡察使糾弾懸
[宛先] 佐伯藩出張詰合中
一紙(二枚継) 一
一九・八×五二・……
No.56-39-16

34 [達] (佐伯藩詰合中出頭命令)
[年月日] 四月八日
[作成] 巡察使糾弾懸
[宛先] 佐伯藩出張詰合中
一紙 一
一九・四×四二・七
No.56-39-17

35 [達] (巡察使在所への出頭命令)
[年月日] (明治四年) 辛未正月朔日
[作成] 巡察使四條陸軍少将
[宛先] 佐伯藩庁
[備考] 彈正台出張からの引取指示書もあり
一紙(二枚継) 一
一六・五×八八・〇
No.56-39-18

36 [伺] (当県にての会集要請)
[年月日] (明治四年) 辛未三月
[作成] 三池藩ほか計七藩
[宛先] 巡察使御中
[備考] 付紙あり
一紙
二四・〇×三二・六
No.56-39-19

37 [報告] (巡察使本営到着後の動向報告)
[年月日] 三月十九日
[作成] 佐久間儀右衛門(印)
[宛先] 黒木常殿・古賀直衛殿
[備考] 付紙あり
一紙
二〇・九×二七・五
No.56-39-20

38 県庁工達下書 本書野紙二記
[年月日] 明治七年十月廿八日
[備考] 禁錮藩士の邸宅地払下に関する書類
一紙
二四・七×三四・七
No.56-39-21-1

39 県庁工達下書 本書野紙二記
[年月日] 明治七年十月廿八日
[作成] 第四大区廿六小区佐伯村士族旧権大参事西名勝昌印
[宛先] 森下大分県令殿
[備考] 禁錮藩士邸宅払下願出の件
一紙
二五・一×三三・〇
No.56-39-21-2

40 邸地歎願書
[年月日] 明治七年十月十五日
[作成] 惣代高橋貞印・谷川豹印
[宛先] 森下殿
[備考] 邸地下賜願、下書
一紙
二五・〇×三四・二
No.56-39-21-3

41 司法省大脇権大録附札
[年月日] (明治四年) 辛未十二月
[備考] 禁錮士族九人の処分に関するもの
一紙(二枚継)
一四・一×七三・〇
No.56-39-21-4

42 [申聞] (庶人下シ農商何れかへ入籍の上在浦市中住居のこと)
[宛先] 禁獄之者親類共へ
一紙(一枚継)
二七・九×六六・〇
No.56-39-21-5

43 高崎藩伺
[年月日] (明治四年) 辛未四月九日
[作成] 高崎藩
[宛先] 弁官御中
[備考] 士族罪科にて庶人下シの者へ家禄の内を削り子孫相続方の伺、岡藩野紙、不可の旨書込あり
野紙
二七・七×四一・五
No.56-39-21-6

44 [指示書] (罰典者五名より邸地下賜願出に付地書調査)
[年月日] 明治七年十月廿三日
[作成] 大分県令森下景端
[宛先] 第四大区廿六小区塩屋村士族旧権大参事西名勝昌
[備考] 封筒あり
野紙
二四・二×三四・〇
No.56-39-21-7

45 [封筒] (旧山口県脱徒関係ノ面々邸地諮問)
[年月日] 明治七年十月十五日仕出
[作成] 大分県
[宛先] 第四大区廿六小区佐伯村士族西名勝昌殿
封筒
二二・五×七・〇
No.56-39-21-8-0

46 [申上書] (罰典者五名の邸地状況説明書)
[年月日] 明治七年十月十七日
[作成] 第四大区廿六小区佐伯村士族旧権大参事西名勝昌印
[宛先] 森下大分県令殿
一紙
二四・七×三三・〇
No.56-39-21-8-1

47 [書出] (佐伯士族有罪除籍者邸地官没以前の藩制など報告要請)
[年月日] 明治七年十月十五日
[作成] 大分県令森下景端
[宛先] 第四大区廿六小区佐伯村士族旧権大参事西名勝昌
野紙
二四・〇×三四・〇
No.56-39-21-8-2

48 浪士ヨリ差越候書面中二有之左之箇条
[年月日] 明治三庚午十二月十六日
[備考] 書面は十二月二十五日東京へ送達、禁錮者と浪士との密会の噂など、包紙あり
一紙
一四・〇×二五・七
No.56-39-21-9

49 [請書] (浮浪取締の件など)
[年月日] (明治四年) 辛未三月十八日
[作成] 佐伯藩
一紙(二枚継)
一五・八×六七・八
No.56-39-21-10

50 [御忌日書付]
[年月日] 辰十一月
[作成] 行政官
一紙
一四・一×一六・五
No.56-39-21-11

51 [包紙] (高麗陣之人数立之写書通・感状之写式通とあり)
[備考] 刑罰・拷問など除く忌日の通知
包紙
三七・〇×二七・五
No.56-39-22-1

52 [請書] (豊後内での浮浪の者捕押方)
[年月日] 庚午十二月十五日
[作成] 佐伯藩
[宛先] 弁官御中御伝達書
野紙
二七・八×一九・四
No.56-39-22-2

53 [達] (浮浪徒潜伏に付陸軍少将巡察使として日田県出張のこと)
[年月日] 辛未一月
[宛先] 何藩
一紙
一五・五×三七・〇
No.56-39-22-3

54 [注進書] (中津田尻村清五郎宅への押入強盗犯ら手配のこと)
[年月日] 庚午十一月三日
[宛先] (藩庁)
[備考] 手配人名の書付あり
一紙(一枚継)
二四・〇×三〇・八
No.56-39-22-4

55 廻文(此度浮浪の徒下関へ潜伏)
[備考] 破損のため後方部展開不能
一紙
一六・五×三〇・五
No.56-39-22-5

56 [申上書] (出向中巡察使参謀中への手配人に関する書面落手)
[年月日] 未四月二十日
[作成] 脇田萬里(印)・秋月新太郎(印)・袋野直記(印)
[宛先] 佐大参事・下執事
[備考] その他長谷川七十郎・尾間拾蔵札口書など落手
一紙(六枚継)
一六・五×三〇・〇
No.56-39-22-6

57 [罪人恩赦・絞斬臬刑の文書雛形]
[備考] 佐伯藩田中静衛ら九名を日田分営へ護送のこと、表題は包紙より、包紙あり
野紙
二七・〇×三七・〇
No.56-39-22-7

58 [西海道御鎮台より御達書写]
[年月日] 辛未七月五日
[作成] 西海道鎮台
[宛先] 佐伯藩
[備考] 佐伯藩田中静衛ら九名を日田分営へ護送のこと、表題は包紙より、包紙あり
一紙(一枚継)
一六・〇×五六・〇
No.56-39-22-8

59 [禁獄関係西統六ヶ寺より差出候書付入]
[年月日] 明治四年辛未四月
[備考] 表題は包紙上書、こよりあり
包紙
四〇・一×二七・〇
No.56-39-22-9-0

60 覚(金札二十両落手のこと)

〔年月日〕 午六月廿一日

〔作成〕 木下長明(印)

〔宛先〕 西教寺殿講御法中

〔備考〕 包紙あり

一紙
二四・五×三二・五

Na56-39-22-9-1

66 〔七十郎・捨蔵一宿の件に付て口上書〕

〔年月日〕 辛未四月十一日

〔作成〕 西教寺

一紙
二八・五×四〇・八

Na56-39-22-9-7

61 〔金子二十両請合う件について上申書〕

〔年月日〕 明治四未四月十三日

〔作成〕 保戸島法照寺(印)

一紙
二七・七×四〇・二

Na56-39-22-9-2

67 〔尾間捨蔵の動向についての口上書草稿〕

〔年月日〕 辛未四月十四日

〔作成〕 津久見浦西教寺

一紙
二七・五×四〇・二

Na56-39-22-9-8

62 覚(白杵光明寺・妙蓮寺へ金札五両出銀のこと)

〔年月日〕 未四月十四日

〔作成〕 福崎寺(印)

一紙
一六・三×二五・五

Na56-39-22-9-3

68 〔口上書〕(昨年六月中旬頃尾間捨蔵立ち寄り時の事情報告書)

〔年月日〕 辛未四月十一日

〔作成〕 津久見浦西教寺印

一紙
二八・五×四〇・七

Na56-39-22-10

63 〔申上書〕(白杵小佐井村両寺へ金一両、福勝寺へ取替依頼)

〔年月日〕 辛未四月十六日

〔作成〕 明福寺(印)

一紙
二八・〇×三二・五

Na56-39-22-9-4

69 〔書簡〕(山口藩脱隊者取締方発令・寺院境内取締)

〔作成〕 村瀬十駕(吉享・花押)

〔宛先〕 西名幾作様人之御中

一紙(六枚継)
一八・二×二四九・三

Na56-29-22-11

64 奉口上覚(金札二両三歩出金・妙蓮寺より請取書を披見)

〔年月日〕 未四月十六日

〔作成〕 大坂本村西音寺(印)

一紙
二八・〇×三四・〇

Na56-39-22-9-5

70 〔廻達書〕(別紙の通り巡察使本営へ差出のこと)

〔年月日〕 辛未三月十八日

〔作成〕 福岡藩印

〔宛先〕 久留米藩ほか十三藩あて

一紙(一枚継)
二七・七×八三・四

Na56-39-22-12

65 改て奉申上候口上書(有修館への金子合力に付て上申書)

〔年月日〕 未四月十六日

〔作成〕 津久見浦西教寺(印)

一紙
二八・〇×四二・〇

Na56-39-22-9-6

71 〔津久見浦西教寺より差出候書付写四通〕

書綴(二丁)
二八・八×三六・〇

Na56-39-22-13

〔備考〕 西教寺不審に付刑法序にて札問、金子二十両出金の件など、表題は包紙より

72 〔包紙〕(幽閉の面々へ関係書翰風説書共)

包紙
二八・三×四二・六

Na56-39-22-14-0

78 静蔵書状(返事拝読・米藩使者参向の件)

〔年月日〕 十二月五日

〔作成〕 静蔵

〔宛先〕 平太郎他二名

一紙
二八・八×三六・〇

Na56-39-22-14-6

73 風説書

一紙
一六・二×一四七・八

Na56-39-22-14-1

79 浪士小谷書簡(篠崎を以古河氏へ申上の件配慮の依頼)

〔年月日〕 三月

〔作成〕 小谷

〔宛先〕 岩崎様

一紙
二四・六×三三・四

Na56-39-22-14-7

74 風説書日田県より別府ニ報知之書

一紙
一五・三×二二五・〇

Na56-39-22-14-2

80 藤太郎書簡(篠崎出向示談の件・軍艦廻着なく手段延引のこと)

〔年月日〕 五日

〔作成〕 藤太郎

一紙(一枚継)
一六・五×九五・〇

Na56-39-22-14-8

75 誠心(古川静造・三木力・阿南勇の誓文)

〔年月日〕 庚午閏十月廿三日

〔作成〕 古川静蔵正章・三木力近重・阿南勇惟

一紙
二五・〇×三四・二

Na56-39-22-14-3

81 〔書簡〕(鉄炮購入に関するもの)

〔年月日〕 閏十月二十九日

〔作成〕 長須客元・松屋庄平

一紙(一枚継)
一六・五×五七・〇

Na56-39-22-14-9

76 悟誓文書

〔年月日〕 閏十月二十三日

〔作成〕 高瀬悟

〔宛先〕 田中静衛様・阿南勇様

〔備考〕 田中・阿南断の義、他言せぬ旨を誓う

一紙
三二・一×四四・二

Na56-39-22-14-4

82 谷川楽山ヨリ幽閉倅豹へ贈ル書簡

〔年月日〕 十一月十五日

〔作成〕 (谷川楽山)

〔宛先〕 (谷川豹)

〔備考〕 「返答致せ正義人ヲ害セハ天誅立所可至」とあり

一紙
二四・八×三四・一

Na56-39-22-14-10

77 静蔵書状(金二十両借用の件など)

〔作成〕 (田中静蔵)

一紙
二四・九×三三・六

Na56-39-22-14-5

83 〔覚〕(中津田尻村清五郎宅に浪士十六人が押し入った件)

〔年月日〕 庚午十一月三日

〔備考〕 阿部慶馬他十五人の名簿あり

一紙
一六・九×七六・五

Na56-39-22-14-11

84 口上書(尾間郡治の弟弥惣太が謹慎中に他藩出奔の件)
〔年月日〕 午十一月
〔作成〕 尾間郡治(印)
縦帳(七丁) 一
二二・八×一六・〇

85 〔覚〕(弥惣太の動向)
〔備考〕 朱筆、付紙あり
一紙 一
二四・六×三二・一と
一四・二×二二・四
Na56-39-22-14-12-2

86 〔包紙〕(明治三庚午十二月廿一日日田同廿五日御便ニ東京へ差越候扣)
〔年月日〕 (明治三庚午十二月)
包紙 一
二七・六×五・九
〔備考〕 「藩庁ヨリ五里臼杵境津久見村へ浪士兩人罷越書翰一通百姓へ相渡里正方へ届
呉候様申開出立去候右書翰写、但十二月十四日朝差出届」(上書)
Na56-39-22-15

87 〔通達〕(命令により参事出頭のこと)
〔年月日〕 辛未三月十六日
一紙 一
一七・六×二九・八
〔作成〕 佐伯藩佐久間大参事・山口少参事
〔備考〕 「今般御用之儀御座候付知事並参事可罷出旨御達之処知事不快に付私共罷出候
比段御届申上候也」とあり
Na56-39-22-16

88 〔通知〕(尾間捨藏以下五名の護送指示)
〔年月日〕 七月十九日
一紙(二枚継) 一
二〇・五×四七・〇
〔作成〕 鎮台分營
〔宛先〕 佐伯藩詰合中
Na56-39-22-17

89 〔通知〕(護送の者共分營への護送指示)
〔年月日〕 七月十二日
一紙(二枚継) 一
一七・四×五四・〇
〔作成〕 鎮台分營
〔宛先〕 佐伯藩詰合中
Na56-39-22-18

96 於幽閉所尾間捨藏申口書取
〔年月日〕 辛未四月
縦帳(三丁) 一
二四・七×一七・六
Na56-39-22-25

97 〔包紙〕(岡境因尾村へ産物為取締差遣置候一輕卒へ浪士四人の者より相渡候書付之写)
〔年月日〕 (明治三庚午年十二月廿一日)
包紙 一
二七・八×二〇・六
〔備考〕 津久見西教寺へ立寄のことなど
Na56-39-22-26

98 〔通知〕(出頭要請)
〔年月日〕 七月廿三日
一紙 一
一七・〇×四三・三
〔作成〕 鎮台分營
〔宛先〕 佐伯藩詰合中
Na56-39-22-27

99 血盟
〔作成〕 西山楨介以下二十五名
横帳(三丁) 一
二二・八×三九・六
〔宛先〕 佐久間義右衛門様・水築小相様・同貞太郎様
〔備考〕 「同志中総代トシテ蜜ニ我等ノ姓名ヲ通ス」
Na56-39-22-28-1

100 〔通知〕(田中静衛・高橋貢・高橋熊太の護送指示)
〔年月日〕 四月廿五日
一紙 一
一九・八×四二・五
〔作成〕 巡察使糺弾懸
〔宛先〕 佐伯藩出張詰合中
Na56-39-22-28-2

101 〔通知〕(脱藩・士民姓名年齢についての調査指示)
〔年月日〕 辛未三月
一紙(二枚継) 一
一七・五×二九・七
〔作成〕 巡察使
Na56-39-22-29

90 回章(別紙久留米藩へ達書ニ通於東京御沙汰書写書通為心得及回達候事)
〔年月日〕 三月廿二日未ノ刻
縦帳(三丁) 一
二六・五×九・九
〔作成〕 福岡藩
〔宛先〕 豊津藩外全十三藩出張中
〔備考〕 久留米藩知事有馬頼成謹慎の件など
Na56-39-22-19

91 〔阿南宗兵衛名代日置左平以下五名への判決状〕
〔年月日〕 (明治三庚午十二月十四日)
縦帳(三丁) 一
二八・〇×三〇・七
Na56-39-22-20

92 覚(浪士らによる日田縣押入騒動計画の件など)
一紙(三枚継) 一
一五・八×二二・六・〇
〔備考〕 総勢三千人による日田縣での騒動と入牢者六人の脱獄一件を別府に報告
Na56-39-22-21

93 図面(事務所間取図)
〔年月日〕
一紙 一
二四・〇×三三・九
〔備考〕 外に別紙(七・二×八・七)あり
Na56-39-22-22

94 〔図面〕(小林居宅など)
一紙 一
二五・五×三三・五
Na56-39-22-23

95 照妖鏡
〔備考〕 山口藩諸隊による大村益次郎襲撃のための協力要請と関連騒動の件など
縦帳(十丁) 一
二四・七×二七・〇
Na56-39-22-24

102 〔制札場条々〕
一紙(二枚継) 一
一六・一×五二・六
〔備考〕 山口藩脱卒などのことについて他三条
Na56-39-22-30

103 〔包紙〕
包紙 一
一九・六×一六・五
〔作成〕 糺弾懸
〔宛先〕 佐伯藩詰合中
Na56-39-22-31

104 覚(金札二十兩受取の件)
〔年月日〕 十一月廿一日
一紙 一
一三・八×一九・三
〔作成〕 木下良将
〔宛先〕 西教寺并御法中
Na56-39-22-32

105 通達(県庁への出頭要請)
〔年月日〕 七月廿六日
一紙 一
一七・四×三九・二
Na56-39-22-33

106 〔通知〕(田中静衛ら四名の護送指示)
〔年月日〕 七月十九日
一紙(二枚継) 一
二〇・四×五〇・八
〔作成〕 鎮台分營
〔宛先〕 佐伯藩詰合中
Na56-39-22-34

107 〔通知書断簡〕
一紙断簡 一
一七・二×七・八
〔作成〕 鎮台分營
〔宛先〕 佐伯藩詰合中
〔備考〕 通知書が破れたもの
Na56-39-22-35

108 [御届書]

[年月日] 辛未三月十六日

一紙

[作成] 佐伯藩

一七・七×三七・三

Na56-39-22-36

109 奉申旨上書

[年月日] 辛未四月十一日

一紙(二枚継)

[作成] 津久見浦西教寺・津井浦真宗寺

二八・五×七六・一

[備考] 昨秋八月学業試験に付豊後中僧侶の参集は浪士助力周旋ではないと弁明

Na56-39-22-37

110 [通知] (別紙付紙の通り心得のこと)

[年月日] 四月廿七日

一紙

[作成] 札弾懸

一九・〇×二四・〇

[宛先] 佐伯藩出張詰合中

Na56-39-22-38

111 [小澤自徹義二付心得書扣]

[年月日] 明治三甲午十二月廿一日

一紙

[備考] 小沢自徹至仕願い届け、表題は包紙より

一三・九×一六・五

Na56-39-22-39-1

112 伺書 (幽閉所待遇について)

[年月日] 四月廿七日

一紙

[作成] 佐伯藩

一七・七×四九・二

[備考] その他付札五枚在中

Na56-39-22-39-2

113 [申上書] (冤罪により捕まった仲間の釈放を求める)

[年月日] (十二月十二日)

縦帳(三丁)

[作成] 諸藩有志中誠恐誠惶泣血再拜

二四・八×一六・六

[宛先] 佐久間義左衛門様・水築小相様・同真太郎様

Na56-39-22-40

114 佐久間・水築二氏へ差出候書翰のうつし

[年月日] (十二月十四日)

縦帳(三丁)

五・〇×六・八

Na56-39-22-41

115 [巡察使四條陸軍少将様へ之御請書]

[年月日] 辛未正月六日

一紙

[作成] 佐伯藩

一七・四×四七・一

[宛先] (巡察使四條陸軍少将)

Na56-39-22-42-1

116 [報告書] (巡察使四條陸軍少将日田出張に関する詳細)

[年月日] 正月廿五日

縦帳(一丁)

[作成] 佐久間義左衛門

一八・〇×四〇・七

[宛先] 西名幾作殿

Na56-39-22-42-2

117 庚午十二月廿七日夜成ノ刻臼杵藩より飛脚ヲ以差越候御達書写

[年月日] 辛未正月六日

縦帳(四丁)

[作成] 佐伯藩

二八・四×四〇・七

[備考] 浮浪之徒に関する巡察使四條陸軍少将からの各藩に対する回答

Na56-39-22-42-3

118 [尋問・回答書]

一紙(二枚継)

二八・一×四〇・七

[備考] 臼杵藩斎藤誠一郎へ陸軍少将属役より尋問とその回答、回答は朱筆

Na56-39-22-42-4

119 [申上書] (浮浪者取締の件など三件)

[年月日] 辛未三月十八日

罫紙一紙

[作成] 佐伯藩

二八・七×三九・八

Na56-39-22-43

120 [書簡] (日田県浮浪騷擾の件)

[年月日] 十一月十八日

一紙

[備考] 前欠

一六・五×六三・五

121 [書簡] (日田県浮浪騷擾の件)

[備考] 前欠

一紙

[備考] 後欠

一六・六×二四・六

122 [包紙] (浪士ヨリ差越候書翰付類)

[備考] 後欠

包紙

[備考] 後欠

三四・〇×二二・五

123 [包紙] (臼杵境津久見村へ浪士商人籠越書翰一通百姓へ相渡里正方へ届具候様申聞立去候右書翰等)

[年月日] (十二月十四日)

包紙

[備考] 「日田県へ御使者被遣候節為被持参候書付写」の付紙あり

二七・八×四一・五

124 [書簡] (禁錮浪士ら斬首命令に付て嘆願書)

[年月日] 十二月六日

一紙(四枚継)

[作成] 諸藩有志中

一三・九×一六四・五

[宛先] 佐伯藩政府各中

Na56-39-22-46-2-1

125 [浪士ヨリ差越候書面中箇条にて心得書]

[備考] 「一、不見敵出兵云々」以下三条、表題は包紙より、付紙あり

一紙

[備考] 「一、不見敵出兵云々」以下三条、表題は包紙より、付紙あり

Na56-39-22-46-3

126 [包紙] (浪士ヨリ書翰に差添有之書付尤写取本体差越候)

包紙

四一・三×二七・五

Na56-39-22-46-4

127 [岡境因尾村へ産物為取締差遣置候一軽卒へ浪士四人之者より相渡書付之写]

[年月日] (十二月十二日)

縦帳(三丁)

[作成] 大和国治・後藤勇・蛟嶋広人

二六・二×一八・〇

[備考] 禁錮浪士らの冤罪釈放を求める、表題は包紙より、付紙あり

Na56-39-22-46-5

128 血盟写書

横帳(二丁)

一三・一×三三・三

Na56-39-22-46-6

129 [名簿]

罫紙一紙

二七・六×三八・四

[備考] 土族田中静衛・高橋貢・谷川豹・関守人・長谷川七十郎・阿南勇・高橋熊太・尾間捨藏・古川静藏など

Na56-39-22-47

130 [袋]

袋

一四・八×一一・七

Na56-39-22-48-1

131 [付紙]

一紙

二二・五×八・三

Na56-39-22-48-2

132 [布等]

一 括 六
三〇・〇×四三・〇

No.56-39-22-49

三 爵記

1 [木箱]

木箱 一
五二・二×二二・二×九・〇

No.56-42-0

2 認可証

〔備考〕「爵記」(箱書)、半円形の木片在中(一三・〇×二二・三〇・五)

〔年月日〕明治二十年二月二十七日

〔作成〕伊藤博文・徳大寺實則

〔宛先〕毛利高範

〔備考〕毛利高範及びその相続者らの華族世襲財産法に於ける財産世襲認可

一紙 一
三七・〇×四九・六

No.56-42-1-1

3 [賞状]

〔年月日〕明治十七年三月六日

〔作成〕宮内省

〔宛先〕毛利高範

〔備考〕明治六年の皇城炎上時、故毛利高謙の百円納付を賞し銀盃一個寄贈

一紙 一
二九・一×四〇・五

No.56-42-1-2

4 [爵記]

〔年月日〕明治十七年七月八日

〔作成〕伊藤博文

〔宛先〕毛利高範

〔備考〕毛利高範子爵叙位、天皇御璽あり

一紙 一
二九・一×四〇・五

No.56-42-1-3

5 [大分県あけぼの展の際の展示品ラベル]

紙 一
三六・〇×三三・七

No.56-42-2

〔備考〕佐伯市毛利蔵シルクハット

6 [華族令] (華族令別冊ノ通被仰出候ニ付此旨相達候事)

〔年月日〕明治十七年七月七日

〔作成〕宮内卿伊藤博文

〔備考〕華族令第一条から第一〇条まで

縦帳(二丁) 一
二七・二×一九・五

No.56-42-3-1

7 勅書写

〔年月日〕明治十七年七月七日

一紙 一
二八・二×二二・二

No.56-42-3-2

四 地券類

1 [書付]

一紙 一
二一・五×一九・五

No.101-1

〔備考〕御束帯・御大紋・御狩衣・御差貫

2 永代売渡證書

〔年月日〕明治二十二年三月十三日

〔作成〕西名勝昌

〔宛先〕矢野文雄

野紙縦帳 一
二三・一×二六・〇

No.101-2

3 [包紙] (古賀直衛抵当宅地地券証入)

包紙 一
二八・三×六・〇

No.101-3-0

4 委任状

〔年月日〕明治十八年四月十四日・明治十八年六月

〔作成〕南海郡佐伯村古賀直衛

一紙 四
二四・二×一六・七

No.101-3-1

5 宅地売買二付地券書換願

〔年月日〕明治十八年六月

〔作成〕江藤格治・西名勝昌

〔宛先〕南海郡部長齋藤利明殿

野紙 三
二四・八×三三・三

No.101-3-2

6 [地券]

〔年月日〕明治十二年十月十日

〔備考〕番地・豊後国南海郡佐伯村一二九ノ内一字西谷、持主・同郡同村古賀直衛、畝数・宅地九畝二歩、地価・三六円二四銭八厘、地租・此一〇〇分ノ二・五金九〇銭六厘

地券 一
二五・二×三三・五

No.101-3-3

7 [地券]

〔年月日〕明治十一年六月二十日

地券 八十
二五・五×三三・〇

No.101-4

8 帝国物産株式会社株式仮券状

〔年月日〕明治廿八年八月十四日

〔作成〕帝国物産株式会社・社長岡橋治助・副社長甲斐宗治・取締役和田半兵衛・取締役谷仲・取締役安田政次郎

〔宛先〕株主山中盛太郎

〔備考〕一石本株式会社ノ内一株ノ株主タルコトヲ確認シ一株・金五拾円ノ内前記金額ヲ払込ミタルノ

一紙 七
二三・〇×二九・五

No.101-5

9 [地券]

地券 七十一
二五・五×三三・五

No.101-6

〔備考〕封筒有り、所有地券証・慶社

五 佐伯開市紀念会

1 [木箱]

〔年月日〕明治三十三年四月五日

〔作成〕紀念会幹事

木箱 一
四七・三×三三・九

No.102-0

2 会員申込綴佐伯開市紀念会

〔年月日〕明治三十三年三月

〔作成〕佐伯開市紀念会

綴 一
二八・八×三三・〇

No.102-1

3 緊要書類綴 佐伯開市三百年紀念会

〔年月日〕明治三十三年

〔作成〕佐伯開市三百年紀念会

綴 一
二五・〇×一七・〇

No.102-2

4 [書簡]

〔年月日〕明治三十三年三月二十二日

〔作成〕石崎合資会社南支店

〔宛先〕佐伯実業銀行

〔備考〕開市三百年祭における瓶詰注文請求書

便箋 一
二七・七×一九・九

No.102-3

證トシテ、此券状ヲ付与ス、その他同様のもの五枚、新聞紙一枚、型紙一枚有り

5 預ケ金通帳袋

袋
二六・七×一五・二

No.102-4

11 [葉書] (開市紀念印投与に付津久見局宛に発送依頼)

[年月日] (明治) 三十三年七月九日
[作成] 岩手哲
[宛先] 佐伯開市紀念会幹事御中

葉書
一四・一×九・〇

No.102-8-2

6 祭典係書類 佐伯開市紀念会事務所

[年月日] 明治三十三年四月
[作成] 佐伯開市紀念会事務所

綴
二四・九×一六・九

No.102-5

12 [金銭出納帳]

[備考] 三月、四月の出納記録

横帳
一一・五×一七・〇

No.102-8-3

7 日誌

[年月日] 明治三十三年二月十八日、六月六日

罫紙縦帳(十三丁)
二五・一×一七・〇

No.102-6

13 記(空箱九甲の納品書)

[作成] 吉良保
[宛先] 記念会馬蹄所御中

一紙
一五・二×一四・六

No.102-8-4

8 [請求書等綴]

[宛先] 事務所

綴(三通)

一三・八×一九・三

No.102-7

14 [葉書・書簡類綴]

[年月日] (明治三十三年)

綴(十二通)
二五・〇×一七・五

No.102-8-5

9 [包紙] (明治三十三年四月煙火射の関係書類)

[年月日] 明治三十三年四月
[作成] 佐伯開市紀念会事務所

包紙
二七・〇×三七・六

No.102-8-0

15 [通帳他綴]

[年月日] (明治三十三年)

綴(六通)
二四・五×一六・五

No.102-8-6

10 明治三十三年三月ヨリ現金買物帳

[年月日] (明治三十三年三月)
[作成] 射的・煙火懸り

横帳(九丁)
一一・五×一六・五

No.102-8-1

16 射的二掛ル費用計算書

[年月日] 明治三十三年四月
[作成] 射的掛
[宛先] 記念会事務所御中

罫紙縦帳(十二丁)
二四・七×一六・六

No.102-8-7

17 売却品計算書

[年月日] 明治三十三年四月十七日
[作成] 射的掛り
[宛先] 記念会事務所御中
[備考] 竹ノ把他代金計算書

罫紙
二四・七×一六・五

No.102-8-8

23 備忘録

縦帳(十二丁)
二五・〇×一七・〇

No.102-11-2

18 煙花二掛ル費用計算書

[年月日] 明治三十三年四月
[作成] 煙火掛
[宛先] 記念会事務所御中

罫紙縦帳(十二丁)
二四・八×一六・五

No.102-8-9

24 明治三十三年三月請求書請取書綴

[年月日] 明治三十三年三月
[作成] 佐伯開市紀念会

綴
三三・〇×二〇・五

No.102-12

19 明治三十三年三月決議録

[年月日] 明治三十三年三月
[作成] 開市三百年節紀念会幹事

罫紙縦帳
二五・一×一七・〇

No.102-8-10

25 [明治三十三年四月宝物陳列裝飾係書類]

[年月日] 明治三十三年四月
[作成] 記念会事務所

綴
二四・五×一六・六

No.102-13

20 [明治三十三年四月能楽琵琶関係書類]

[年月日] 明治三十三年四月
[作成] 佐伯開市紀念会事務所

綴(二十通)
二七・〇×一八・四

No.102-9

26 紀念盃送附人名簿

[年月日] 明治三十三年六月
[作成] 記念会事務所

縦帳(九丁)
二四・五×一六・七

No.102-14

21 [明治三十三年宴会係書類]

[年月日] 明治三十三年四月
[作成] 佐伯開市紀念会事務所

綴(十八通)
二七・一×三八・一

No.102-10

27 [電報] (三百年祭について)

[年月日] 明治三十三年四月四日
[作成] 御手洗良儲
[宛先] モウリシ

一紙
二四・三×一八・〇

No.102-15

22 明治三十三年寄附金届出人員外二金員區別統計表

[年月日] 明治三十三年三月
[作成] 佐伯開市紀念会事務所

縦帳(二丁)
二五・〇×一七・〇

No.102-11-1

28 寄付要求書

[年月日] 三月十二日
[作成] 古川克巳・古川昇
[宛先] 幹事根柢胤・山中盛太郎・坂本永年・大崎護佑・田中甚五郎
[備考] 白紙四枚を含む

一紙
二二・七×一五・〇

No.102-16

29 佐伯三百年記念会佐伯町ニ於テ執行順序報告

〔年月日〕明治三十三年三月
〔作成〕佐伯開市三百年記念会幹事

一紙 四〇
一九・七×二八・七

No102-17

30 〔書簡・会員証類一括〕

〔備考〕記念会プログラム

一括
二二・〇×七・七

No102-18

〔備考〕事務所より今泉素ら宛書簡四通・会員証などを封筒に一括

31 〔書簡〕(菓子代金請求の件)

〔年月日〕七月五日
〔作成〕月本小兵衛
〔宛先〕大崎様
〔備考〕封筒あり

一紙二枚 一
一八・二×四二・四

No102-19

32 〔書簡〕(開市関連経費送達のこと)

〔年月日〕七月三日
〔作成〕西郷信也
〔宛先〕佐伯開市三百年祭幹事御中
〔備考〕別紙の「記」あり、包紙あり

一紙 二
二四・八×三三・二

No102-20

33 会券十四枚切畑返却分

〔備考〕「佐伯開市三百年記念会正会員之証」在中、包紙あり

一紙 十四
七・六×三・八

No102-21

34 〔葉書〕(記念会人名に金額の記載なきに付早急に通知の依頼)

〔年月日〕明治三十三年三月三十一日
〔作成〕佐伯開市記念会
〔宛先〕市ノ瀬寿平・同金作様(明治村字床木)

葉書 一
一四・二×九・一

No102-22

35 〔葉書〕(記念会人名に金額の記載なきに付早急に通知の依頼)

〔年月日〕三月三十一日
〔作成〕佐伯開市記念会
〔宛先〕児玉利喜蔵様(明治村字大坂本)

葉書 一
一四・八×九・一

No102-23

36 〔領収等綴〕

〔宛先〕記念会事務所

綴(四通)
二四・六×三三・六

No102-24

37 御慶事御控 古川満

〔年月日〕十一月十八日
〔作成〕古川満

縦帳(二丁) 一
二二・五×二六・二

No102-25

38 出納帳 幹事

〔年月日〕明治三十三年三月

縦帳(三丁) 一
二五・〇×二六・九

No102-26

39 明治三十三年賛助員寄附人名簿

〔年月日〕明治三十三年三月
〔作成〕佐伯市記念会事務所

縦帳(四丁) 一
二五・〇×二六・六

No102-27

40 明治三十三年正会員寄附人名簿

〔年月日〕明治三十三年三月
〔作成〕佐伯市記念会事務所

縦帳(百十六丁) 一
二四・八×二六・〇

No102-28

41 明治三十三年上半季勘定帳 佐伯魚市場

〔年月日〕明治三十三年上半期
〔作成〕佐伯魚市場

縦帳(四丁) 一
二七・三×三〇・一

No102-29

42 〔人名書付〕

横帳(二丁) 一
二二・五×三三・四

No102-30

〔備考〕高山虎造以下六十一名、名前の上に贈答品のリストあり

43 明治四三年三月佐伯市開市三百年節買物帳

〔年月日〕明治四三年三月
〔作成〕事務所

横帳(十四丁) 一
一七・〇×二二・七

No102-31

44 明治三十三年三月判取帳

〔年月日〕明治三十三年三月
〔作成〕佐伯開市記念会事務所

横帳(十六丁) 一
二二・〇×二四・三

No102-32

45 株式会社百九銀行当座預金通帳

〔年月日〕明治二十八年十月四日
〔作成〕株式会社百九銀行

縦帳(十九丁) 一
一九・〇×二二・五

No102-33

46 明治三十四年六月佐伯市開市三百年記念会収支清算書

〔年月日〕明治三十四年六月
〔作成〕記念会幹事

縦帳(九丁) 一
二六・〇×一六・五

No102-34

47 明治三十三年往復書綴 佐伯開市記念会

〔年月日〕明治三十三年
〔作成〕佐伯開市記念会

綴 一
二五・五×二〇・〇

No102-35

48 領収証

〔年月日〕明治三十三年
〔作成〕(佐伯開市記念会幹事)

横帳(百八十五丁) 一
一四・九×三三・九

No102-36

49 井伊大老と開港

〔年月日〕明治四十二年七月三日発行
〔作成〕中村勝麻呂

書籍 一
二二・三×二六・〇

No102-37

50 〔印鑑〕

〔備考〕「佐伯開市記念会事務所呼」、「領収済」、「会券渡済」の印鑑三點

印鑑 一
二二・三×二六・〇

No102-38

51 〔包紙〕(祝詞)

〔備考〕祝詞七枚在中

包紙 一
二八・三×五・〇

No102-39-0

52 〔坂本永年祝詞〕

〔年月日〕明治三十三年四月五日
〔作成〕坂本永年

一紙(一枚綴) 一
二八・三×六七・八

No102-39-1

53 [平山右文治祝詞]

[年月日] 明治三十三年四月五日
[作成] 佐伯開市三百年紀念會員總代平山右文治

一紙
三九・四×五二・三

Na102-39-2

その他

54 祝詞

一紙
三三・〇×四六・〇

Na102-39-3

1 豊後国玖珠日田郡御蔵入御算用状

[年月日] 慶長六丑年

一紙
二七・〇×……

Na57-38-1

55 [西名漸祝詞]

[年月日] 明治三十三年四月五日
[作成] 西名漸

一紙
三三・〇×四四・七

Na102-39-4

2 豊後国日田郡玖珠郡内御蔵入目録

[作成] 御代官毛利民部少輔

一括(三冊)
……

Na57-38-2

56 [益田甲子夫祝詞]

[年月日] 明治三十三年四月
[作成] 益田甲子夫

一紙
一九・六×二六・二

Na102-39-5

3 仙洞御所作事対屋方御造作付大工・木挽工数割帳

[備考] [奉祝三百年祭明治三十三年四月日 益田甲子夫]

[年月日] 寛文四甲辰年十一月日
[作成] 棟梁今奥出羽・同塚本差使
[宛先] 御手伝方毛利伊勢守(高尙)
[備考] 展開可能

一紙
……

Na57-10-1

57 [細川立興祝詞]

[年月日] 明治三十三年四月五日
[作成] 從五位細川立興

一紙
三三・〇×四六・二

Na102-39-6

4 仙洞御所作事対屋方御材木割帳

[備考] [奉祝三百年祭明治三十三年四月日 益田甲子夫]

[年月日] 寛文四甲辰年十月日
[作成] 棟梁平井義太夫・同岡嶋与右衛門
[宛先] 御手伝毛利伊勢守(高尙)
[備考] 展開不能

一紙
……

Na57-10-2

58 [毛利高範祝詞]

[年月日] 明治三十三年四月五日
[作成] 子爵毛利高範

一紙
三三・〇×三二・〇

Na102-39-7

5 仙洞御所作事手伝一件書 拾壹冊

[備考] 破損展開不能

[備考] 破損展開不能

一括(十一冊)
……

Na57-7

6 仙洞対屋方指図 毛利伊勢守

[備考] 破損展開不能

一紙
三一・五×一七・八

Na57-31

12 勅諭之写御書一通・御達書一通

[年月日] 慶応元年十月十四日

一括
……

Na57-15

7 仙洞御所作手伝一件書拾七冊・絵図面一枚

[年月日] (寛文四年)

一括(二十冊)
……

Na57-47

13 瀬川若海内原村・野村平野内原村・海村石枝・塩屋村之内交崎塩屋村・白塚野村組内・黒沢田方検見一件

[年月日] 嘉永三戌年十一月
[作成] 御郡代明石大助

一紙
……

Na57-3

8 禁裏就御作事手伝衆入用道具書付

[備考] 關係書類二十冊を一括、包紙あり、破損展開不能

一括
……

Na57-34

14 塩屋村田方検見・堅田村田畑荒地見分一件

[年月日] 安政四巳年十月
[作成] 御郡代古賀五郎左衛門

一紙(三冊)
……

Na57-4

9 [包紙] (禁裏就御作事手伝衆入用道具書付数通入)

[備考] [慶応四戊辰年江戸御屋鋪引私二付八月上旬大廻ニ着]

包紙
……

Na57-35

15 塩屋村之内新地方・堅田村組市福所田方検見一件

[年月日] 文化十三年九月
[備考] [蛇崎袋内孫右衛門・並河李一、破損展開不能]

一紙
……

Na57-5

10 [包紙] (仙洞御所作手伝一件書六冊 明治三十三年六月封)

[年月日] 明治三十三年六月

包紙
……

Na57-10-0

16 下直見村赤木村仁田原村・横川村上直見村切畑村・久部村蛇崎塩屋村之内・太江灘段田村組内兩城村田方検見帳

[年月日] 嘉永三年十一月
[作成] 御郡代山口藤左衛門

一紙
……

Na57-6

11 御奏聞御書付写二通・御達書写二通

[年月日] 慶応元年十月八日

一紙
……

Na57-14

17 市福所田方検見一件

[年月日] 文政十一年十月
[作成] 御郡代所

一紙(複數)
……

Na57-8

[備考] 破損展開不能

[備考] 展開不能、表題の他複數冊を一括

18 梶寄浦本ノ間山御□(破損) 此方同浦へ御貸渡被仰付候一件

〔年月日〕嘉永六年四月 一括 一
〔作成〕御郡代所 二八・〇×一八・五

No57-18

19 文化九壬申年御領分中百姓供願筋在之願書□(破損)候付廻在中申渡御用向一件帳

〔年月日〕文化九壬申年□(破損)月 縦帳 一
〔作成〕戸倉織部 二七・九×一九・九

No57-22-2

20 元禄年中日光山領より宇都宮堺絵図

折本 一
二〇・五×九・〇

No57-13

〔備考〕破損甚大、彩色

21 〔日記〕

縦帳 一
二六・〇×一九・五

No57-26

〔備考〕「為月並御礼御家中面々小姓組迄城金兵衛礼為乃事」、破損展開不能

22 御附札之ヶ条御答書 毛利美濃守

〔作成〕毛利美濃守(高誠) 一括(四冊) 一
二八・〇×二〇・七

No57-27

〔備考〕破損展開不能

23 大嘗会御殿之絵図・役懸り之書付・忌詞之書付

〔年月日〕元文三年十一月 絵図 一
二五・五×二七・三

No57-28

〔備考〕嘉永二西十月改、破損展開不能

24 〔破損文書一括〕

一括(十七通) (計測不能)

No57-36

25 松平玄蕃頭殿二内談申候城絵圖書付之控

一紙 一
一八・〇×六・五

No57-39

〔備考〕「松平安芸守様作州へ御在番之節御人数割書付」他、破損展開不能

26 寛政十一巳未年公儀より被差出控 御家系書冊 同十二庚申年□(破損)森氏御家系書冊 外二覚書三通

〔年月日〕寛政十一巳未年・同十二庚申年 一括(三冊) 一
一八・五×……〇

No57-20

〔備考〕部分的に展開可能

27 系譜中御尋之趣御答書

〔作成〕毛利美濃守(高誠) 一括(五冊) 一
二七・七×一九・九

No57-23

〔備考〕展開不能、表題の他複数冊を二括

28 御系譜書継案

一括(三冊) 一
……〇×……〇

No57-24

〔備考〕破損展開不能

29 家系 毛利伊勢守

〔作成〕毛利伊勢守 一括(三冊) 一
一八・〇×……〇

No57-25

〔備考〕破損展開不能

30 系譜中御尋之趣御答書 毛利美濃守

〔作成〕毛利美濃守(高誠) 一括(二冊) 一
二八・〇×二二・〇

No57-29-1

〔備考〕破損展開不能

31 追々被差出候□(破損)系譜写一冊・此度被差出候古御系譜一冊・御答書二冊

一括(二冊) 一
二九・〇×三三・〇

No57-29-2

〔備考〕破損展開不能

32 〔家紋替紋〕

縦帳(五丁) 一
二八・二×二〇・五

No57-30

〔備考〕破損

33 〔系図〕

縦帳 一
三三・〇×三三・〇

No57-32

〔備考〕破損展開不能

34 家系 毛利伊勢守

一紙類一括 一
三三・〇×二四・〇

No57-33

〔備考〕破損展開不能、袋入(中身不明)

35 家系 毛利伊勢守

〔作成〕毛利伊勢守 縦帳・一紙類一括 一
三一・六×二二・八

No57-46

〔備考〕関係書類四点・包紙一枚あり、破損展開不能

〔備考〕破損展開不能

〔備考〕「松平安芸守様作州へ御在番之節御人数割書付」他、破損展開不能

〔備考〕破損展開不能

〔備考〕部分的に展開可能

〔備考〕展開不能、表題の他複数冊を二括

〔備考〕破損展開不能

〔備考〕破損展開不能

36 〔包紙〕(寛洗院様御手□(破損)・古系譜写一冊・御答書一冊)

包紙 一
二七・〇×……〇

No57-19

〔備考〕破損有り

37 毛利父方并後室 木曾母方 佐久間母方系図

縦帳(三十四丁) 一
二四・七×二六・九

No57-21

〔備考〕破損、展開可能

38 〔包紙〕(先年公儀へ被差出候御控書通他)

包紙 一
三九・五×四七・〇

No57-38-0

〔備考〕破損展開不能

39 御参勤海陸御書付

一紙 一
三六・八×八・〇

No57-41

〔備考〕破損展開不能

40 〔和歌〕

一紙 一
三六・〇×四九・〇

No57-42

〔備考〕包紙あり

41 〔具足注文〕

一紙 一
……五×九・〇

No57-43

〔備考〕破損展開不能、表題は封筒から

42 高慶公御書

一括
二四・七×六・〇

No57-44-1

43 高丘公御自筆 亨通

〔備考〕破損展開不能、包紙で一括

一紙
一八・〇×五・二

No57-44-2

44 馬術御伝書

〔備考〕破損展開不能、包紙あり

一紙
一八・〇×六・三

No57-45

45 御長筒用之品并槽入

〔備考〕破損展開不能、包紙あり

竹札一括
三〇・五×一三・〇

No57-37

46 御朝夕賄品買り上代渡帳

〔備考〕竹の札五本を包紙一枚にて包んだもの

〔年月日〕明治十三年九月中
縦帳
二四・五×一七・〇

No57-1

47 家来御入用代渡帳

〔備考〕「書特第壹号」の付札あり、破損展開不能

〔年月日〕明治十三年七月中
縦帳
二四・五×一六・〇

No57-2

48 御賄諸御入用渡帳

〔年月日〕明治十三年三月中

一括(五冊)
四・五×六・五

No57-16

49 御朝夕御賄諸品買入代渡帳

〔備考〕破損展開不能
〔年月日〕明治十三年四月中

一括(五冊)
五・〇×七・五

No57-17

50 御朝夕御賄諸品買入代渡帳

〔備考〕破損展開不能
〔年月日〕明治十三年一月中

縦帳
四・三×六・八

No57-22-1

51 〔沿岸鮑磯買収契約書類〕

〔備考〕「通計金式百拾九円〇八銭二厘」、破損のため展開不能

一括(九通)
四・四×八・五

No57-40

52 〔記〕(魚代等書付)

〔備考〕関係書類九点を包紙にて包む、表題は包紙より
〔年月日〕〔明治期〕

断簡
二四・五×八・八

No57-11-2

53 〔破損文書一括〕

〔備考〕断簡
〔備考〕破損展開不能

一括(五冊)
二八・三×七・七

No57-9

54 札(書特等第一号)

一紙
二四・五×八・〇

No57-11-1

55 〔紙札〕

紙札
二七・〇×二二・七

No57-12

IV 毛利家概要・調査に至る経緯

佐伯藩主毛利家の概要

毛利氏とは近江国愛智郡鯉江に城を構え、藤原鯉江と称していた。後に森姓を経て毛利に改めるのは、佐伯藩初代藩主となる高政の代においてである。高政は最初の名を森勘八郎といい、永禄二年（一五五九）に尾張国刈安加で生まれたといわれる。豊臣秀吉に仕え、播磨国明石郡に領地を与えられていた（『御系譜』『佐伯藩史料 温故知新録』一 佐伯市教育委員会 一九九五）。

高政が最初に豊後に入部したのは、日田、玖珠郡二万石の大名としてである。豊後国は文禄二年の太閤蔵入り地となり、海部、大野、直入、大分、速見、国東、日田、玖珠の各郡に蔵入り代官が配置された。高政入部の年代については諸説あるが、豊臣秀吉朱印状から推定して、文禄三年（一五九四）あるいは慶長元年（一五九六）とする説が有力である（『佐伯藩史料 温故知新録』一 佐伯市教育委員会 一九九五、『大分県史近世編』I 大分県 一九八三）。

関ヶ原の戦い後の慶長六年（一六〇一）、高政は佐伯に封ぜられた。佐伯藩は、大分県佐伯市に城地をもつ二万石の小藩である。その領域は現在の行政区画では、佐伯市、津久見市南部、南海部郡上浦町、鶴見町、米水津村、蒲江町、弥生町、本匠村、直川村のほぼ全域に渡る。

高政は入部後ただちに城の建設に着手し、築城場所として番匠川河口の八幡山（城山）山頂を選定した。慶長七年（一六〇二）普請を開始し、三層の天守をもつ本丸を中心とした城郭を築く。また併行して、城山の東南麓に広がる沖積地を埋め立て城下町を建設した。この城下町を基礎として現在の佐伯市街地が發展している。

高政以後の毛利家は、五代、六代藩主が豊後森藩主の久留嶋家から入る

が、十二代高謙のときに廃藩置県を迎えるまで、異動することなく藩主家として領知を支配した。中でも佐伯藩中興の祖といわれ、様々な藩政改革を行った六代藩主高慶、佐伯文庫を開き学問を推奨した八代藩主高標が特に知られる（図一）。

調査に至る経緯

佐伯市では、毛利家に遺品として伝世する資料の寄託を受けることになり、平成十年三月、佐伯文化会館内の旧結婚式場に搬入した。

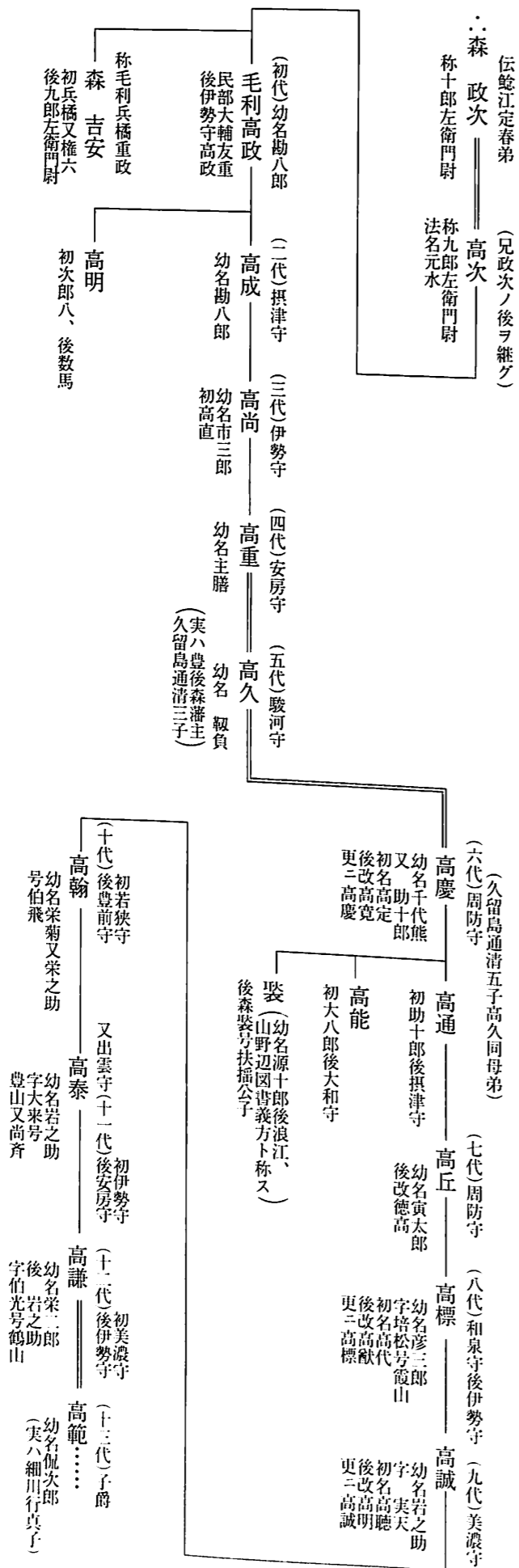
寄託された資料については、昭和六十年に一度調査が行われ、佐伯藩武具什器等収納品台帳という形でまとめられている。しかし、これに記載されたものは資料全体の一部であると考えられたため、資料整理と併行して予備調査という位置づけで再調査を行うことになった。ただし、古文書については個別に調査することになり、調査対象からは除外した。

資料の多くは、良好とはいえない保存状況に置かれていたことによる汚損が進んでいた。このため、調査は各資料の汚れを除去した後、計測、観察、写真撮影を行い、調査カードを作成するという手順で実施した。調査の終了した資料は種類別に分類し、コンテナ等に収めて収蔵庫に保管している。予備調査の結果、古文書を除いた資料の総点数は二二〇点余であることが判明、詳細は毛利家資料予備調査一覧（表一）にまとめたとおりである。調査期間は平成十年四月から平成十二年九月までの二年半を要した。

調査が終了した時点で検討した結果、今後の展示・保存計画策定のためにも、専門の研究者による学術調査が必要であると判断した。調査対象は資料の分量と重要度を考慮して、武器、鉄砲、染織、漆工、絵画、古文書の六分野で行うこととし、平成十三年度調査作成、十四年度報告書刊行という日程で、国庫補助を受けて事業を実施するに至った。

（吉武 牧子）

図一 毛利氏略系



表一 毛利家資料予備調査一覽

① 工芸品

◎ 武器甲冑

品名	数量	武器			甲冑類	数量
		鐵炮	鎗	銃		
鐵炮	五				一二七	合計 二〇〇
鎗	二					
銃	一					
軍用品類	二二					
馬具	三九					

◎ 染織・服飾品等

品名	数量	合計
軍用装束	三四	
大紋	一	
烏帽子	二	
上着	七	
肩衣	四	
火事装束	三〇	
袴	五	
脚絆	四	
大口	一	
有職	二	
頭巾	一	
洋服	一一	
その他	三〇〇	

◎ 漆工

品名	数量	合計
化粧道具	三三	
調度類	九	
膳類	九七	
椀類	三二五	
その他食器類	六〇	

◎ 生活用具

品名	数量	合計
文房具	二二	
印章類	四	
飲食器	四二	
調理具	七	
化粧具	二九	
その他	一三二	

◎ 陶磁器等

品名	数量	合計
品名	五八七	
飲食器	三	
調理具	五	
保存具	六	
化粧具	五	
その他	五	

◎ 洋食器

品名	数量	合計
品名	一八七	
飲食器	一八七	

◎ ガラス製品

品名	数量	合計
品名	六	
飲食器	二〇	
その他	六	

◎ 楽器等

品名	数量	合計
品名	四	
樂器	一	
曲譜	四	

◎ その他

品名	数量	合計
品名	一九	
玩具類	一九	

◎ 絵画

品名	数量	合計
品名	八	
襖繪(大)	四	
襖繪(小)	一	
肖像画	一	

◎ その他

品名	数量	合計
品名	一	
石製灯笼	一	

毛利家資料調査報告書

工芸品・絵画・古文書

平成十五年三月三十一日 発行

発行 佐伯市教育委員会

大分県佐伯市中村南町四番一号

印刷 佐伯印刷株式会社佐伯工場

大分県佐伯市女島九〇三番地